

分布調査報告書(29)

2003

山形県教育委員会

分布調査報告書(29)

平成15年3月

山形県教育委員会

序

本書は、山形県教育委員会が平成13年度に実施した遺跡詳細分布調査の成果をまとめたものです。

平成7年度を初年度とする第四次山形県教育振興計画では「感性豊かな教育と文化の創造」をテーマとし、その中で、文化財の保存と活用については、文化財基礎調査や遺跡詳細分布調査を計画的に実施すること、埋蔵文化財基本台帳等の整備を図り、文化財情報システムの構築や文化財の周知の徹底・普及に努めることが大きな柱とされました。

遺跡詳細分布調査は、本県の「新総合発展計画」に基づく各種開発計画と埋蔵文化財包蔵地の保護のための調整を第一目的としています。また、山形県教育委員会では、現在、遺跡情報の整備を進めておりますが、その基本的な情報として大切な資料となるものでもあります。

本書は、平成13年度の各種開発事業計画と埋蔵文化財包蔵地保護の調整の経過及び経過を記録したものであると同時に、調査結果に基づいて埋蔵文化財包蔵地のこれまでの所見を必要に応じ改訂し、その結果の周知を図ることも併せもつものです。今後の文化財保護に活用していただければ幸いです。

平成15年3月

山形県教育委員会

教育長 木村 幸

例 言

- 1 本書は平成13年度に山形県教育委員会が国庫補助を受けて実施した平成13年度以降農林土木事業関係遺跡他に関する遺跡詳細分布調査の報告書である。
- 2 報告書の作成は山形県教育庁社会教育課文化財保護室の佐藤庄一・名和達朗・長橋 至（平成13年度担当者）の3名が担当した。
- 3 第Ⅰ章に平成13年度の調査遺跡一覧を、第Ⅱ章に個々の調査結果を記した。新規発見遺跡・登録抹消遺跡・範囲・位置の変更については、本書の発行をもって周知されたものとする。
- 4 挿図の縮尺は不統一であり、各図毎にスケールを示した。遺跡位置図は国土地理院発行の2万5千分の1の地図を使用した。なお、第Ⅱ章2以下はこれをさらに縮小して使用した。
- 5 挿図及び文中の記号は以下のとおりである。

T、TTは発掘溝、試掘溝、TP・□は試掘坑を表す。挿図中の赤色部分は遺構・遺物検出、黒色部分は遺構・遺物未検出を示す。
遺跡位置図の赤色部分は範囲を示す。

ST-竪穴住居跡、SB-建物跡、SK-土坑、SD-溝跡、SM-窯跡、
EB-掘り方、EP-柱穴、SX-性格不明落込みを示す。
- 6 図版の遺物は2分の1と3分の1を原則とし、2分の1縮尺以外は各図版に縮尺率を示した。
- 7 調査にあたっては、関係各機関・市町村教育委員会及び地権者各位、地元関係者の御協力を得た。ここに記して感謝申し上げます。

目 次

I 調査の目的、方法と経過	
1 調査の目的、方法	1
2 調査の経過	1
II 調査の概要	
1 遺跡地名表	
(1) 県農林事業関係遺跡	4
(2) 県土木事業関係遺跡	6
(3) 県文化環境部関係遺跡	8
(4) 県総務部関係遺跡	8
(5) 県企業局関係遺跡	8
(6) 国土交通省関係遺跡	8
(7) 日本道路公団関係遺跡	10
(8) 県住宅供給公社関係遺跡	10
2 試掘調査の概要	
(1) 釜淵D遺跡	32
(2) 埴ノ上遺跡	34
(3) 泉森竈跡	36
(4) 坂ノ下遺跡	38
(5) 泉森南竈跡	40
(6) 塩野西上屋敷遺跡	42
(7) 蔵之館跡	44
(8) 大明神遺跡	46
(9) 荒砥城跡	50
(10) 台の上遺跡	52
(11) 長者原遺跡	54
(12) 東畑A遺跡	56
(13) 達磨寺遺跡	58
(14) 川前2遺跡	60
(15) 下反田2遺跡	66
III まとめ	
1 新規発見遺跡	70
2 範囲・名称を変更する遺跡	71

附表目次

表-1	平成13年度分布調査遺跡一覧	2
表-2	調査工程表	3
表-3	掲載遺跡位置図一覧(2万5千分の1)索引	31
表-4	川前2遺跡トレンチャー一覧	63

遺跡地名表挿図・図版目次

位置図・図版1	県農林事業関係遺跡	12
位置図・図版2	県農林事業関係遺跡	13
位置図・図版3	県農林事業関係遺跡	14
位置図・図版4	県農林事業関係遺跡	15
位置図・図版5	県農林事業関係遺跡	16
位置図・図版6	県農林事業関係遺跡	17
位置図・図版7	県農林事業関係遺跡	18
位置図・図版8	県農林・土木事業関係遺跡	19
位置図・図版9	県土木事業関係遺跡	20
位置図・図版10	県土木事業関係遺跡	21
位置図・図版11	県土木事業関係遺跡	22
位置図・図版12	県土木事業関係遺跡	23
位置図・図版13	県土木・文化環境部関係遺跡	24
位置図・図版14	県文化環境部・総務部・企業局関係遺跡	25
位置図・図版15	県企業局・国土交通省関係遺跡	26
位置図・図版16	国土交通省関係遺跡	27
位置図・図版17	国土交通省・日本道路公団関係遺跡	28
位置図・図版18	日本道路公団関係遺跡	29
位置図・図版19	日本道路公団・県住宅供給公社関係遺跡	30

挿図目次

第1図	釜淵D遺跡概要図	32
第2図	竝ノ上遺跡概要図	34
第3図	泉森竝跡概要図	36
第4図	坂ノ下遺跡概要図	38
第5図	坂ノ下遺跡遺構配置図	39
第6図	泉森南竝跡概要図	40
第7図	泉森南竝跡遺構配置図	41
第8図	塩野西上屋敷遺跡概要図	42
第9図	蔵之館跡概要図	44
第10図	蔵之館跡A区検出遺構平面図	45
第11図	大明神遺跡概要図	46
第12図	大明神遺跡調査平面・断面略図(1)	47
第13図	大明神遺跡調査平面・断面略図(2)	48
第14図	荒砥城跡概要図	50
第15図	台の上遺跡概要図	52
第16図	台の上遺跡検出遺構平面図・断面図	53
第17図	長者原遺跡概要図	54
第18図	東畑A遺跡概要図	56
第19図	達磨寺遺跡概要図	58
第20図	達磨寺遺跡検出遺構平面図・断面図	59
第21図	川前2遺跡概要図(1)	61
第22図	川前2遺跡概要図(2) A・B地区	61
第23図	川前2遺跡検出遺構平面図・断面図(1) T3~T8	62
第24図	川前2遺跡検出遺構平面図・断面図(2) T13~T17	62
第25図	川前2遺跡検出遺構平面図・断面図(3) T21~T25	63
第26図	下反田2遺跡概要図	66
第27図	下反田2遺跡調査平面・断面略図(1)	67
第28図	下反田2遺跡調査平面・断面略図(2)	68

図版目次

図版 1	釜淵D遺跡	33
図版 2	埴ノ上遺跡	35
図版 3	泉森竈跡	37
図版 4	坂ノ下遺跡	39
図版 5	泉森南竈跡	41
図版 6	埴野西上屋敷遺跡	43
図版 7	藏之館跡	45
図版 8	大明神遺跡 (1)	48
図版 9	大明神遺跡 (2)	49
図版 10	荒砥城跡	51
図版 11	台の上遺跡	53
図版 12	長者原遺跡	55
図版 13	東畑A遺跡	57
図版 14	達磨寺遺跡	59
図版 15	川前2遺跡 (1)	60
図版 16	川前2遺跡 (2)	64
図版 17	川前2遺跡 (3)	65
図版 18	下反田2遺跡	69

I 調査の目的、方法と経過

1 調査の目的、方法

本調査は、平成13年度以降に予定されている開発計画等に先行して、埋蔵文化財包蔵地(遺跡)の詳細な分布調査を行い、遺跡の所在、範囲、性格を明らかにし、開発計画との調整をとって、遺跡の保護を図ることを目的とした。なお、一部、今年度までの調査結果に基づき、記録保存や現状保存を目的とする小規模な発掘調査と工事立会いの調査も実施した。

調査は、その目的によって、以下の方法で実施した。

(1) A調査(現地確認調査・表面踏査)

開発事業計画範囲内の表面踏査を行い、遺跡の範囲と事業実施計画区域の平面的な関係を確認し、遺跡の保護を図ることを目的とする。

(2) B調査(試掘調査)

坪掘りやトレンチ掘りを行って遺構や遺物の平面的な分布範囲や、遺構確認面までの深さ等を把握して、開発事業計画との調整をとって遺跡の保護を図ることを目的とする。

(3) C調査(記録保存のための発掘調査)

A・B調査の結果、遺跡の保存状態が良好でない場合や、開発事業にかかる面積が狭い場合や接する場合に、必要に応じて実施する記録保存の調査。方法は発掘調査に準ずる。

(4) 立会い調査

開発事業による遺跡への影響が軽微な場合、工事施工に立ち会って実施する調査。この調査によって、遺構や遺物が発見された場合には記録保存を行う。

2 調査の経過

山形県教育委員会では、毎年5～6月に開発関係各機関に、今後の事業計画についての照会を行い、その回答を受けて、7月上旬に聞き取りを実施し、事業計画と埋蔵文化財包蔵地との関係について検討を行っている。そして、この結果に基づいて、必要に応じて分布調査を実施し、事業との調整を図っている。そのほか、開発関係各機関から提出された埋蔵文化財分布調査依頼に基づく調査も随時行っている。

平成13年度の調査は、表-1に示した各遺跡の調査を平成13年4月から平成14年3月まで表-2の工程で行うとともに、事業予定地区内外における埋蔵文化財包蔵地の有無を確認するための表面踏査と試掘調査も実施した。

なお、平成13年度新規発見遺跡(平成13年度登録遺跡)、範囲・名称(遺跡名)を訂正した遺跡、登録を抹消した遺跡は、Ⅲ章のまとめに示した。

表-1 平成13年度分布調査道路一覧

	事業名	事業地区名	道路名	調査区分			立会
				A	B	C	
1	県営ほ場整備事業(担い手育成型)	釜淵地区	釜淵	D	○		
	県営ほ場整備事業(担い手育成型)	家根合地区	家根合		○		○
	県営ほ場整備事業(担い手育成型)	宮原地区	旭ノ上		○	○	
	県営ほ場整備事業(担い手育成型)	宮原地区	金城館路				○
	県営ほ場整備事業	鮎川左岸地区	鮎川左岸	反	○		
	県営ほ場整備事業	鮎川左岸地区	熊野館路		○		
	県営ほ場整備事業	鮎川左岸地区	萩田		○		
	県営ほ場整備事業	小其塚地区	小其塚館路		○	○	
	基盤整備促進事業	小山下地区	権兵衛館路		○		
2	土地改良総合整備事業	郡山地区	郡山		○		
	土地改良総合整備事業	泉郷地区	泉郷後沢		○		
	土地改良総合整備事業(担い手育成型)	天童東部地区	湯尻		○		○
	土地改良総合整備事業(担い手育成型)	天童東部地区	小島組		○		○
3	中山間地域総合整備事業	ふじの里東部地区	西山3		○		○
	中山間地域総合整備事業	栗山の里地区	岩木B				○
	中山間地域総合整備事業	舟運の郷2期地区	上竹野		○		
	中山間地域総合整備事業	舟運の郷2期地区	沼台小坂		○		
	中山間地域総合整備事業	舟運の郷2期地区	清水城路		○		
	中山間地域総合整備事業	舟運の郷2期地区	上沢		○		
	中山間地域総合整備事業	リバーサイド栗山地区	瀬田道		○		
4	広域営農団地農道整備事業	飽海中央地区	泉森窓路		○		
	広域営農団地農道整備事業	飽海中央地区	坂ノ下道		○		○
	広域営農団地農道整備事業	飽海中央地区	泉森南窓路		○		
	広域営農団地農道整備事業	飽海中央地区	深谷経塚		○		
5	一般農道整備事業長湯西部2期	東根市長湯	沼袋				○
	一般農道整備事業	成生地区	二階堂氏屋敷		○		
	農村自然環境整備事業		根際的場		○		
6	過疎基幹農道整備事業	笹山地区	東山3		○		
7	農免農道整備事業	塩井西部地区	塩野西上屋敷		○		
	農免農道整備事業	塩井西部地区	蔵之領		○		
8	一般県道村山大石田線道路改良	大石田町米遊寺	米遊寺		○		○
	一般県道東山七浦線道路改良工事	山形市七浦	大明神		○	○	○
	一般県道蔵王成沢長谷堂線道路改良	山形市松原	片谷地		○	○	○
	国道287号道路改築	和合バイパス	上ノ山		○	○	
	国道287号道路改築	和合バイパス	上ノ山		○	○	
	国道287号道路改築	長井南バイパス	寛小屋		○		○
	国道287号道路改築	克紙T線	第二農		○		○
	緊急地方道(主)新庄次年子線	上山市楢下	台の上		○	○	
	主要地方道上山七ヶ宿線道路改良	上山市楢下	台の上		○	○	
地方特定(主)長井辰巻線	飯豊町樽	長若		○			
9	都市計画街路	高島町高島	大在家		○		
	都市計画街路	米沢市米沢	花		○		
	都市計画街路	米沢市米沢	米沢城路		○		○
	3・4・1長湯神町線都市計画街路事業	東根市東根	小田島館路			○	○
10	最上川ふるさと事業駐車場建設	寒河江市島	高瀬山		○		

	事業名	事業地区名	道路名	調査区分			立合
				A	B	C	
11	雁行沢砂防ダム	寒河江市日和田	栗 輪				○
12	県営住宅開口田地建替事業2号	南陽市宮内	観音堂	○			○
13	県防災行政無線整備工事	高館山中継局	高 館	○			○
14	県括新層調査		館山平城跡	○			○
15	県立中央病院解体	山形市山形	山形城三の丸				○
16	鹿野広域水道用水供給事業	米沢市築沢	赤 峰 b	○			○
	鹿野広域水道用水供給事業	米沢市築沢	田 代	○			○
	鹿野広域水道用水供給事業	米沢市築沢	六 部 屋敷	○			○
17	国道113号線赤湯バイパス建設工事	南陽市赤湯	夏 畑 A	○	○		
18	地域高規格道路余目酒田線	余目町～酒田市	南 口 A	○			
	地域高規格道路余目酒田線	余目町～酒田市	南 口 B	○			
	地域高規格道路余目酒田線	余目町～酒田市	私 田	○			
19	三川バイパス	鶴岡市	本 田	○			
20	須川下流部河川改修	中山町長崎	川 前	○	○		
	須川下流部河川改修	中山町長崎	達 磨 寺	○	○		
	須川下流部河川改修	中山町長崎	若 宮	○	○		○
	須川下流部河川改修	中山町長崎	川 前	○	○		
	須川下流部河川改修	山形市下反田	下 反 田 2			○	
高 島 河 川 改 修	高島町難野目	橋 向				○	
21	日本海沿岸東北自動車道	酒田～遊佐間	神 矢 道 B	○			
	日本海沿岸東北自動車道	酒田～遊佐間	下 山 崎	○			
	日本海沿岸東北自動車道	酒田～遊佐間	中 田 浦	○			
	日本海沿岸東北自動車道	酒田～遊佐間	野 田	○			
	日本海沿岸東北自動車道	酒田～遊佐間	野 瀬	○			
	東北中央自動車道福島米沢間	米沢市刈安	川 子 橋	○	○		
	東北中央自動車道福島米沢間	米沢市刈安	川 越 石 a	○	○		
	東北中央自動車道福島米沢間	米沢市刈安	川 越 石 b	○	○		
東北中央自動車道福島米沢間	米沢市刈安	刈 安 a	○	○			
22	宅 地 開 発	山形市風間北	北 向	○			

表一 平成13年度調査工程表

事業名	平成13年												平成14年			平成15年	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	1月	2月			
県農林・土木事業関係	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
国土交通省・道路公団 県住宅供給公社他関係	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
平成14年度以降の埋蔵文化財包蔵 地調査に係る関係事業計画の取り扱				—													
遺物資料整理										—	—	—	—	—			
報告書原稿作成													—	—			

II 調査の概要

1 遺跡地名表

(1) 県農林事業関係遺跡

No.	種別	遺跡名	所在地	時期	立地	地目
1	集落跡	家根合	東田川郡余目町大字家根合字五輪塚他	縄文時代 平安時代	平地 (6m)	水田
2	城館跡	金城館	長井市大字九野本字金城	室町時代	自然堤防 (208m)	水田 地
3	集落跡	小反	最上郡鮎川村大字京塚字小反704	縄文時代	段丘 (70m)	宅畷 水田 地
4	城館跡	熊野館	最上郡鮎川村大字佐渡字佐渡	鎌倉時代	台地 (80m)	山林 神社境内
5	集落跡 ?	萩田	最上郡鮎川村大字石名坂字萩田318	鎌倉時代 ?	段丘 (60m)	草地
6	城館跡	小其塚館	高島町大字小其塚字館後、中屋敷ほか	中世	段丘 (219m)	畑地
7	城館跡	権兵衛館跡	最上郡戸沢村大字角川字福村119の1	縄文時代 中世	丘陵端 (70m)	畑山 地
8	集落跡	郡山	東根市大字郡山字クネカラミ、トヤサキ	縄文 平安	平地 (94m)	水田 地
9	集落跡	泉郷後沢	東根市大字泉郷字後沢2708、2712、神明2850	縄文 平安	段丘 (190m)	畑水 地
10	集落跡	湯尻	天童市大字貫津字湯尻	縄文時代 平安時代	段丘 (120m)	畑水 地
11	集落跡 城館跡	中島館跡	天童市大字貫津字中島	縄文 平安 中世	段高地 (125m)	畑地
12	集落跡	岩木B	西村山郡河北町大字岩木220	縄文時代	河岸段丘 (116m)	畑宅 地
13	集落跡	上竹野	最上郡大蔵村大字清水字上竹野707	縄文時代 弥生時代	段丘 (70m)	畑地
14	集落跡	沼台小坂野	最上郡大蔵村大字沼台小坂野	縄文時代 ?	山腹 (250m)	山林 牧草
15	城館跡	清水城跡	最上郡大蔵村大字清水字比良	安土桃山 江戸	台地 (90m)	公水 園田
16	集落跡	上沢	最上郡戸沢村大字角川字長坂台3404	縄文時代	台地 (280m)	水田
17	集落跡	細田	村山市大字土生田細田	縄文時代	段高地 (74m)	畑地
18	経塚	深谷経塚	酒田市大字北沢字深谷	平安時代	山腹 (85m)	畑果樹 地
19	集落跡	板ノ下	酒田市大字生石字板ノ下ほか	平安時代	山腹 (77m)	畑地

遺 跡 概 要	出 土 遺 物	備 考
家根合集落の南東0.5kmに立地する。今回は余目南部農道Ⅱ期の北側パイプ埋設予定地の立会を行う。全体に泥炭質で遺構・遺物は未検出。	なし	No1706 平成13年9月県教委立 会調査実施
現在、船跡の西側土塁および北側土塁の一部が残っている。平成13年8月県教委が担い手育成基盤整備事業に関わり立会調査を実施した。	なし	山形県中世城館遺跡調 査報告書209-028 12年度試掘調査実施
村立大豊小学校の北方約700mに位置する。最上内川左岸の果道の東西に分布する。範囲は、東西約80m、南北約170m。	なし	No1049
役場北東方向約1.2kmに位置する。県道東側の台地先端部に立地する。沖積地との比高差約20m。範囲は、東西約350m・南北約135m。	なし	No1043 山形県中世城館遺跡調 査報告書366-011
高士井地区北方約500mの東西道路北側に細長く張り出す台地上に位置する。範囲は、東西約3m・南北3m。	なし	No1046
小其地区西側、西方に鬼面川を望む200×300mの不等辺四角形台地上にある。県営ほ場整備事業は台地の下となるため、館跡にかららない。	なし	山形県中世城館遺跡調 査報告書381-016
滝ノ下・中沢地区間に位置する。角川左岸部の丘陵張り出し部に立地する。沖積地との比高差約10m。範囲は、東西約180m・南北約240m。	なし	No1118 山形県中世城館遺跡調 査報告書367-016
市立小田高小学校の東方約600mに位置する。東西水路両側に沿い、広範囲に遺物が散布する。範囲は、東西約200m・南北120m。	縄文土器、剥片 土師器、須恵器 陶磁器	No712
後沢地区南西側の段丘上に立地する。段丘下沿いの水路筋、段丘上の水田面に遺物が散布する。	縄文土器(晩期)、剥片 石刀	No691
市立津山小学校の南方約300mに位置する。倉津川右岸から山麓部に広がる緩斜面に分布する。要遺跡範囲訂正。	土師器、須恵器	平成10年度登録 平成13年度県教委試 掘・立会調査実施
市立津山小学校の南東方向約800mに位置する。農道内の試掘調査で土塊・遺物を確認する。範囲は、東西約170m・南北約300m。	土師器、須恵器	山形県中世城館遺跡調 査報告書210-009平成13年度 県教委試掘・立会調査実施
法師川右岸の河岸段丘上、岩木集落を含む範囲に位置する。今回は、集落内の畑地、鶏舎跡地部分の立会を行う。既削平埋没の状況を示す。	なし	No480 平成14年1月県教委立 会調査実施
上竹野地区北東側の段丘縁部に広がる畑地に位置する。遺物の散布は比較的多く確認できる。範囲は、東西約150m、南北約200m。	縄文土器 剥片	No1302
中野地区西方の丘陵東側に分布する。遺物採取等による詳細な位置は、確認できず。範囲は、東西約250m、南北約400m。	なし	No1039
役場の南西約700mの最上川左岸に張り出す台地に立地する。沖積地との比高差約45m。		No1031 山形県中世城館遺跡調 査報告書365-001
田上沢分校南側の台地北側に分布する。遺物採取等による詳細な位置は、確認できず。	なし	No1106
JR奥羽本線袖崎駅の北東約2kmに位置する。大石町町へ至る道路北側のなだらかな畑地に分布する。範囲は、東西約120m、南北約70m。	縄文土器 剥片	No640
通路地区の北東200m、矢流川右岸の緩斜面に立地する。山林を開墾した際、経轡や鋤を發掘したという。現在は畑地に土器が散布する。	赤焼土器	No2049
泉森畑跡の北600m、坂ノ下遺跡発掘調査地区の北400mに位置する。本地点は平成14年1月、農道整備に関わり立会調査を実施した。	須恵器、赤焼土器	平成13年度登録 平成13年度県教委立 会調査実施

No.	種別	遺跡名	所在地	時期	立地	地目
20	集落跡	沼袋	東根市大字長濬字沼袋	平安時代	自然堤防(80.6m)	畑地
21	城館跡	二階堂氏屋敷	天童市大字清水字二階堂	中世	自然堤防(93m)	樹園地 果木農園 田圃
22	集落跡	根際的場	東村山郡山辺町大字根際字の場	縄文時代	山麓(160m)	畑地 宅地 果樹地
23	散布地	東山 3	東田川郡朝日村大字越中山字東山他	縄文時代	段丘(113m)	畑地

(2) 県土木事業関係遺跡

No.	種別	遺跡名	所在地	時期	立地	地目
24	集落跡	菜迎寺	北村山郡大石田町大字横山字菜迎寺	縄文時代	河岸段丘(69m)	宅地 畑地 田圃
25	集落跡	片谷地	山形市大字片谷地	平安時代	自然堤防(125m)	畑地 宅地 道
26	集落跡	大隅	西村山郡朝日町大字和合字大隅	旧石器時代 縄文時代	河岸段丘(140m)	果木 宅地 田圃
27	散布地	上ノ山	西村山郡朝日町大字玉ノ井字上ノ山他	縄文時代	河岸段丘(134m)	畑地 荒地
28	包蔵地	寛小屋	川西町大字犬川字寛小屋	古墳時代	自然堤防(209m)	道 水路 田圃
29	集落跡	第二農場跡	村山市大字本飯田柳塚2485	縄文時代(前期?)	微高地(104m)	畑地
30	集落跡	大在家	高畠町大字高畠字大在家ほか	古墳時代 奈良時代 平安時代	平地(225m)	宅地 畑地 田圃
31	集落跡	花沢b	米沢市駅前三丁目	縄文時代	段丘(250m)	畑地
32	城館跡	米沢城二の丸	米沢市丸の内	室町時代 戦国時代 江戸時代	平地(250m)	宅地 道路
33	城館跡	小田島城跡	東根市大字東根字小橋	縄文-弥生 平安-近世	段丘(120-130m)	宅地 畑地
34	集落跡	高瀬山	寒河江市島	旧石器 平安	段丘(99m)	畑地
35	集落跡	箕輪	寒河江市大字箕輪字深町ほか	平安時代	微高地(112m)	畑地 宅地 道路
36	集落跡	観音堂	南陽市大字蒲生田字観音堂ほか	平安時代	自然堤防(233m)	畑地 宅地 果樹園地

遺跡概要	出土遺物	備考
長壽地区の北西約1.5kmの果樹畑帯に位置する。農道内の試掘・立会調査で住居跡、溝跡、遺物を確認。東西約110m、南北約200m範囲。	土師器	平成13年度登録 平成13年度県教委試掘・立会調査実施
乱川左岸の自然堤防上に立地。二階堂の地名からして、成生庄の地頭二階堂氏に関連する遺跡とみられる。現在北側と東側に堀跡が残る。	なし	No301 平成11年度県教委試掘調査実施
根柵集落北側の山際に立地する。表面踏査・試掘調査の結果、遺跡は登録地点より大きく東側に広がることが明らかとなった。要遺跡範囲訂正。	縄文土器、石器剥片	No388 平成14年3月県教委試掘調査実施
朝日村役場の北東約1.8kmの段丘上に立地する。現道内の試掘調査の結果、遺構・遺物は確認できなかった。要遺跡範囲訂正。	なし	平成8年度登録 平成13年度県教委試掘調査実施

遺跡概要	出土遺物	備考
最上川左岸、米田寺集落とその南西側一帯に位置する。今回は県道拡幅による立会調査。6トレンチで遺構・遺物は未検出。	なし	No813 平成13年4月県教委立会調査実施
J R奥羽本線蔵王駅北側300mに位置する。4トレンチ設定。ストレンチで柱穴が検出された。遺構は希薄であり、中心は北側畑地と推定。	なし	No79 平成13年4月県教委試掘・5月立会調査実施
最上川右岸の段丘上に立地、旧石器発見で学史的に有名。事業予定地の段丘縁部の宅地部分を試掘。遺構・遺物は未検出。要遺跡範囲訂正。	なし	No531 平成13年10月県教委試掘調査実施
最上川左岸の段丘上に立地する。県道予定地に6トレンチ設定。自然地形の落込みより流れ込みによる石器出土。要遺跡範囲訂正。	石器	平成4年度登録 平成13年10月県教委試掘調査実施
犬川地区の北西に位置する。一般国道287号の道路改築に関わり、平成13年8月県教委が立会調査を実施したが遺物等は認められなかった。	なし	平成12年度登録 平成12年度県教委試掘調査実施
金谷地区の北西約500m、金谷工業団地北側の県立村山農業高等学校第二農場に位置する。県道用地内の立会調査では、遺物は確認できず。	なし	No630 平成13年度県教委立会調査実施
高島町内の南東1kmに位置する。6世紀代から続く大黒落跡で、高島町教育委員会が平成3・4・9～11年に発掘調査を実施している。	なし	高島町遺跡地図A-71
J R奥羽本線米沢駅の北西500mに位置する。米沢市教育委員会による宅地開発に係る調査で縄文時代後期の土器や石器が出土。	なし	米沢市遺跡地図E-83
米沢市街地の南西部に位置する。今回の確認地は二の丸の東端にあたる。平成13年5月、電線共同溝工事に伴って立会調査を実施した。	なし	山形県中世城館遺跡調査報告書202-149
東根市街地北部に位置する。県道用地内の立会調査で土壇、溝跡、遺物を確認。範囲は、東西570m、南北740m。	縄文土器 土師器、須恵器	No668 山形県中世城館遺跡調査報告書211-010
最上川左岸沿いの丘陵地である高瀬山一帯に大きな広がり分布する。試掘調査の結果、丘陵南側区域まで範囲を確認。要遺跡範囲訂正。	剥片 土師器、須恵器	No430 平成13年度県教委試掘調査実施
箕輪地区の北東に位置する。砂防ダム関連の水路掘削工事に伴って、平成13年10月県教委が立会調査を実施したが、遺跡外と判断された。	なし	平成12年度登録 平成12年度県教委立会調査実施
蓮生田地区東側、吉野川右岸に位置する。県営住宅関口団地立替事業に関わり、平成13年11月県教委が試掘調査を実施したが遺跡外と判断。	なし	昭和60年度登録 昭和60年度県教委試掘調査実施

(3) 県文化環境部関係遺跡

No.	種別	遺跡名	所在地	時期	立地	地目
37	城館跡	高館	鶴岡市大字大山字城山	中世	山頂 山腹 (273m)	山林 テレビ塔
38	城館跡	山平城	米沢市館山2丁目他	中世	河岸段丘 (260m)	水田 畑地

(4) 県総務部関係遺跡

No.	種別	遺跡名	所在地	時期	立地	地目
39	城館跡	山形城三の丸跡	山形市桜町7	中近世	平地 (135m)	旧病院

(5) 県企業局関係遺跡

No.	種別	遺跡名	所在地	時期	立地	地目
40	散布地	糸群	米沢市大字築沢字組ノ下536	縄文	段丘 (413m)	畑地 水田
41	集落跡	田代	米沢市大字築沢字田代原1068他	縄文	段丘 (387m)	畑地 水田
42	城館跡	六郎屋敷	米沢市大字築沢	中世	段丘 (367m)	水田 畑地

(6) 国土交通省関係遺跡

No.	種別	遺跡名	所在地	時期	立地	地目
43	包蔵地	南口A	東田川郡余日町南口	近世?	平地 (7m)	水田
44	散布地	南口B	東田川郡余日町南口	平安時代	平地 (8m)	水田
45	散布地	弘田	東田川郡余日町大字弘田	平安時代	平地 (9m)	畑地 水田
46	散布地	本田	鶴岡市大字本田	平安時代	平地 (11m)	水田 畑地
47	包蔵地	川前	東村山郡中山町長崎字川前	平安時代	自然堤防 (93m)	畑地 果樹
48	集落跡	若宮	山形市灰塚字若宮	平安時代	河岸段丘 (93m)	河川敷
49	祭祀遺跡	橋向	高島町糠野目字橋向	室町時代	河川 (213m)	河川敷

遺跡概要	出土遺物	備考
<p>大山地区北西1.5km、山頂から日本海と庄内平野を見渡す高館山に立地する。東西250m、南北630m、今回は山頂に近い無線局予定地立会い。</p> <p>館山1～4丁目、東西1.2km、南北1kmの範囲を想定。伊達正宗関連の館跡の可能性？東端部を活断層調査時に立会。観跡の一部を検出。</p>	<p>なし 立会面積30㎡ 遺構未検出</p> <p>なし</p>	<p>平成7年登録（中世城館等3基）平成13年8月県教委立会</p> <p>米沢市遺跡地図G-527平成14年11月県教委立会調査実施</p>

遺跡概要	出土遺物	備考
<p>旧県立山形中央病院解体工事に伴う立会調査。建築物撤去、地下構造物撤去時に未掘削部分への影響の有無を確認。既工事部分で解体実施。</p>	なし	<p>No.1 平成14年2月県教委立会調査実施</p>

遺跡概要	出土遺物	備考
<p>永野地区北側の県道両側の範囲に位置する。現道部分の立会調査では、遺構・遺物は確認できなかった。</p>	陶器？	米沢市遺跡番号h-202平成13年度県教委立会調査実施
<p>田代地区南側の県道両側の範囲に位置する。現道部分の立会調査で、柱穴・溝状地形、遺物が確認された。</p>	縄文土器、剥片	米沢市遺跡番号h-198平成13年度県教委立会調査実施
<p>初神地区の県道西側から山麓部の範囲に位置する。現道部分の立会調査では、遺構・遺物は確認できなかった。</p>	なし	山形県中世城館遺跡調査報告書202-154平成13年度県教委立会調査実施

遺跡概要	出土遺物	備考
<p>I R 陸羽西線余目駅南西約1.6km、平地の自然堤防上に立地する。過去の試掘で柱根が検出されている。事業予定地内の可能性がある。</p>	なし	昭和61年度登録 昭和61年度県教委試掘調査実施
<p>I R 陸羽西線余目駅南西約1km、自然堤防上に立地する。過去の表面踏査で平安時代の遺物の散布がみられた。</p>	なし	昭和61年度登録 昭和61年度県教委試掘調査実施
<p>I R 陸羽西線余目駅南西約1km、市街地の南端部に位置する。遺跡周辺は宅地化が進み、一部水田、畑地を残す現状となっている。</p>	なし	昭和61年度登録 昭和61年度県教委試掘調査実施
<p>本田集落北東500mの微高地に立地する。現国道7号と三川バイパス建設中の交差点から南側一帯約200m四方に遺物が若干散布する。</p>	須恵器、赤焼土器	平成13年度登録
<p>連勝寺集落東側1.3km、須川右岸の自然堤防上に立地する。今回堤防改築予定地について試掘調査を実施。遺構・遺物は未検出であった。</p>	なし	No.398 平成13年5月県教委試掘調査実施
<p>須川と白川合流点北側、須川右岸の現河川敷に立地する。事業予定地の試掘調査により発見。対象地は希薄のため13年度立会調査対応とした。</p>	須恵器、赤焼土器	平成13年度登録 平成13年5月県教委試掘調査実施、7月立会実施
<p>国道13号補修野目橋西方の最上川河川敷内に位置する。平成13年6月と8月の2回、最上川の環境整備工事に関り試掘調査を実施。</p>	<p>須恵器、赤焼土器</p> <p>瓦殿型板碑を多く出土</p>	平成13年度登録 平成13年度県教委立会調査を実施

(7) 日本道路公団関係遺跡

No.	種別	遺跡名	所在地	時期	立地	地目
50	散布地	神矢道 B	飽海郡遊佐町大字藤崎字千代ノ藤	縄文時代	砂丘 (40m)	畑 植林地
51	散布地	下山崎	飽海郡遊佐町大字北目字下山崎	平安時代	平地 (4m)	水田
52	集落跡	中田浦	飽海郡遊佐町大字当山字西山崎	平安時代	平地 (4m)	水田
53	集落跡	筋田	飽海郡遊佐町大字北目字筋田	平安時代	平地 (3m)	水田
54	集落跡	野瀬	飽海郡遊佐町大字北目字野瀬	平安時代	平地 (4m)	水田
55	集落跡	栗子橋	米沢市万世町刈安字橋場	縄文時代	河岸段丘 (455m)	原山 野林
56	集落跡	川越石 a	米沢市万世町刈安字川越石五	縄文時代	河岸段丘 (332~444m)	畑原 地野
57	集落跡	川越石 b	米沢市万世町刈安字川越石 24319他	縄文時代	河岸段丘 (454m)	原山 残土置場 野林
58	集落跡	刈安 a	米沢市万世町刈安字矢沢原	縄文時代	河岸段丘 (420m)	原山 野林

(8) 県住宅供給公社関係遺跡

No.	種別	遺跡名	所在地	時期	立地	地目
59	散布地	北向	山形市大字風間字北向	平安時代	自然堤防 (125m)	畑 果樹地

遺 跡 概 要	出 土 遺 物	備 考
中藤崎地区西側砂丘上に位置する。古来より文献に登場するが、正確な位置、範囲は砂丘のため現在不明。径700mの範囲を想定。	なし	No2196 「庄内考古13号」佐藤慎宏氏（1976年） 平成元年度登録
下山崎集落の北西約500mの水田中に位置する。若干の遺物の散布がみられるというが希薄である。試掘調査未実施。	なし	No2091 平成4年度県教委発掘調査実施
下山崎集落を中心とした水田中に位置する。遺跡面積80,000㎡のうち、3,400㎡の発掘調査では、平安時代の集落跡が検出された。	なし	平成3年度登録 平成4年度県教委発掘調査実施
丸子集落の北側約1km、月光川右岸の自然堤防上に立地する。発掘調査により掘立柱建物跡や井戸跡、多数の土埴などが検出されている。	なし	平成元年登録 平成2・3年試掘、平成2年立会実施
丸子集落の北側に隣接する。国道345号拡幅工事の立会い調査で平安時代の溝跡等が検出されている。ほ場整備関連でも試掘調査実施。	なし	平成元年登録 平成13年6月県教委試掘調査実施
刈安川右岸の河岸段丘上に立地する。事業予定地内4トレンチでは遺構・遺物は検出されなかった。要遺跡範囲修正。	なし	米沢市遺跡地図B-292 平成13年11月県教委試掘調査実施
刈安川右岸の河岸段丘上に立地する。事業予定地内ほぼ全域の21トレンチでは遺構・遺物は検出されなかった。要遺跡範囲修正。	なし	米沢市遺跡地図B-86 平成13年6月県教委試掘調査実施
刈安川右岸の河岸段丘上に立地する。4本のトレンチで遺構・遺物未検出。現残土盛土中の下位段丘は未調査。要遺跡範囲修正。	なし	米沢市遺跡地図B-88 平成13年6月県教委試掘調査実施
刈安川左岸の河岸段丘上に立地する。事業予定地内15トレンチでは遺構・遺物は検出されなかった。要遺跡範囲修正。	なし	米沢市遺跡地図B-87 平成13年11月県教委試掘調査実施

遺 跡 概 要	出 土 遺 物	備 考
楢山小学校東側から南側一帯、村山高瀬川左岸に位置する。東西250m、南北100mの範囲で遺物が散布する。南西側への広がりには未確認。	須恵器・赤城土器	平成13年度登録 平成14年度県教委試掘調査実施

遺跡概要	出土遺物	備考
中麻崎地区西側砂丘上に位置する。古来より文献に登場するが、正確な位置、範囲は砂丘のため現在不明。径700mの範囲を想定。	なし	No2196 [庄内考古13号]佐藤慎宏氏(1976年)
下山崎集落の北西約500mの水田中に位置する。若干の遺物の散布がみられるというが希薄である。試掘調査未実施。	なし	平成元年度登録
下山崎集落を中心とした水田中に位置する。遺跡面積80,000㎡のうち、3,400㎡の発掘調査では、平安時代の集落跡が検出された。	なし	No2091 平成4年度県教委発掘調査実施
丸子集落の北側約1km、月光川右岸の自然堤防上に立地する。発掘調査により掘立柱建物跡や井戸跡、多数の土坑などが検出されている。	なし	平成3年度登録 平成4年度県教委発掘調査実施
丸子集落の北側に隣接する。国道345号拡幅工事の立会い調査で平安時代の溝跡等が検出されている。ほ場整備関連でも試掘調査実施。	なし	平成元年登録 平成2・3年試掘、平成2年立会い実施
刈安川右岸の河岸段丘上に立地する。事業予定地内4トレンチでは遺構・遺物は検出されなかった。要遺跡範囲修正。	なし	米沢市遺跡地図B-292 平成13年6月県教委試掘調査実施
刈安川右岸の河岸段丘上に立地する。事業予定地内ほぼ全域の21トレンチでは遺構・遺物は検出されなかった。要遺跡範囲修正。	なし	米沢市遺跡地図B-86 平成13年11月県教委試掘調査実施
刈安川右岸の河岸段丘上に立地する。4本のトレンチで遺構・遺物未検出。現残土盛土中の下位段丘は未調査。要遺跡範囲修正。	なし	米沢市遺跡地図B-88 平成13年6月県教委試掘調査実施
刈安川左岸の河岸段丘上に立地する。事業予定地内15トレンチでは遺構・遺物は検出されなかった。要遺跡範囲修正。	なし	米沢市遺跡地図B-87 平成13年11月県教委試掘調査実施

遺跡概要	出土遺物	備考
楯山小学校東側から南側一帯、村山高瀬川左岸に位置する。東西250m、南北100mの範囲で遺物が散布する。南西側への広がりは未確認。	須恵器・赤焼土器	平成13年度登録 平成14年度県教委試掘調査実施



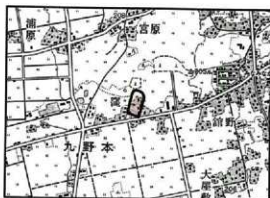
家根合遺跡



家根合遺跡近景(東から)



家根合遺跡出土遺物



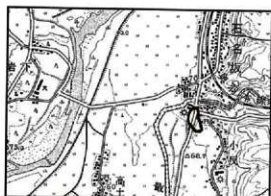
金城館遺跡



金城館跡北側土塁



金城館跡掘跡検出状況



小反遺跡



小反遺跡近景(南から)

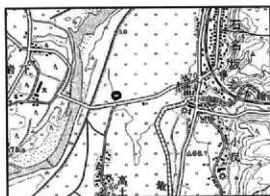
遺跡地名表 位置図・図版1 (県農林事業関係遺跡)



熊野館跡



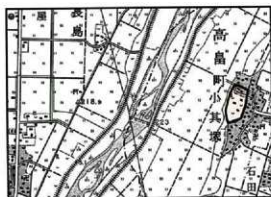
熊野館跡近景 (西から)



蓑田遺跡



蓑田遺跡近景 (東から)



小其塚館跡



小其塚館跡遠景 (西から)



小其塚館跡空堀 (南から)



権兵衛館跡



権兵衛館跡遺景 (南から)



権兵衛館跡近景 (北東から)



郡山遺跡



郡山遺跡近景 (西から)



郡山遺跡出土遺物



泉郷後沢遺跡

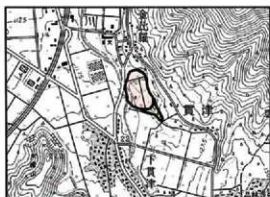


泉郷後沢遺跡近景 (西から)



泉郷後沢遺跡出土遺物

遺跡地名表 位置図・図版3 (県農林事業関係遺跡)



湯尻遺跡



湯尻遺跡近景 (東から)



湯尻遺跡遺構検出状況 (南から)



中島館跡



中島館跡近景 (南から)



中島館跡出土遺物



岩木B遺跡



岩木B遺跡近景 (東から)



岩木B遺跡立会調査区(東から)



上竹野遺跡



上竹野遺跡近景(南から)



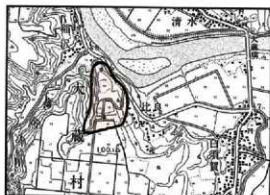
上竹野遺跡出土遺物



沼台小坂野遺跡



沼台小坂野遺跡遠景(南から)



清水城跡



清水城二の丸跡遠景(南から)

遺跡地名表 位置図・図版5 (県農林事業関係遺跡)



清水城二の丸跡外濠跡近景 (西から)



上沢遺跡



上沢遺跡遠景 (南東から)



上沢遺跡近景 (南から)



細田遺跡



細田遺跡近景 (東から)



細田遺跡出土遺物



深谷経導遺跡

遺跡地名表 位置図・図版6 (県農林事業関係遺跡)



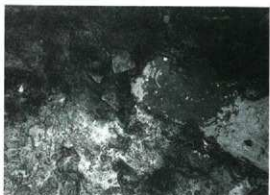
深谷経塚近景（南から）



坂ノ下遺跡



坂ノ下遺跡立会調査（南から）



坂ノ下遺跡遺物出土状況



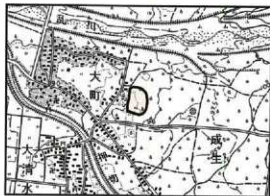
沼袋遺跡



沼袋遺跡近景（東から）



沼袋遺跡遺構検出状況（東から）



二階堂氏屋敷遺跡

遺跡地名表 位置図・図版7 (県農林事業関係遺跡)



二階堂氏屋敷遺跡近景（北東から）



根際の場遺跡



根際の場遺跡近景（南から）



根際の場遺跡トレンチ遺構検出状況（北から）



東山3遺跡



東山3遺跡近景（北から）



東山3遺跡試掘調査状況（南から）



来迎寺遺跡

遺跡地名表 位置図・図版8 (県農林・土木事業関係遺跡)



来迎寺遺跡立会状況



来迎寺遺跡小柱穴検出状況



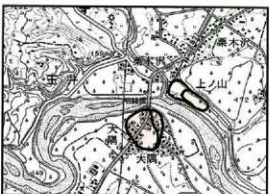
片谷地遺跡



片谷地遺跡近景・作業風景（南から）



片谷地遺跡トレンチ遺構検出状況（北から）



大隅・上ノ山遺跡



大隅遺跡近景（南西から）



大隅遺跡トレンチ調査状況（東から）

遺跡地名表 位置図・図版9 (県土木事業関係遺跡)



上ノ山遺跡遺景（南西から）



上ノ山遺跡トレンチ調査状況（南から）



上ノ山遺跡出土遺物



莞小屋遺跡



莞小屋遺跡立会調査（北から）



莞小屋遺跡土層断面



第二農場遺跡



第二農場遺跡立会調査状況（東から）



第二農場遺跡立会調査状況（東から）



大在家遺跡



大在家遺跡近景（南から）



大在家遺跡近景（北から）



花沢b遺跡



花沢b遺跡近景（西から）



花沢b遺跡近景（東から）



米沢城二の丸跡

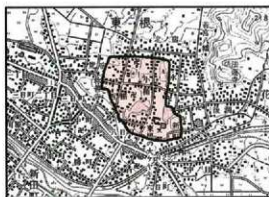
遺跡地名表 位置図・図版11（県土木事業関係遺跡）



米沢城二の丸跡近景（南から）



米沢城二の丸跡立会調査



小田島城跡



小田島城跡立会調査区近景（東から）



小田島城跡遺構検出状況（西から）



高瀬山遺跡

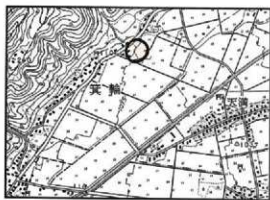


高瀬山遺跡近景（南から）



高瀬山遺跡遺構検出状況（南から）

遺跡地名表 位置図・図版12（県土木事業関係遺跡）



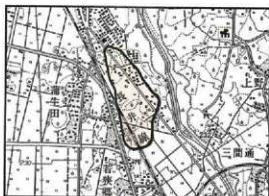
箕輪遺跡



箕輪遺跡近景（北から）



箕輪遺跡立会調査状況



観音堂遺跡



観音堂遺跡遠景（北から）



観音堂遺跡立会調査



高鷲遺跡



高鷲立会区近景（南から）

遺跡地名表 位置図・図版13（県土木・文化環境部関係遺跡）



高館立会区全景 (南から)



館山平城跡



館山平城跡近景 (東から)



山形城三の丸跡



山形城三の丸跡立会調査 (旧県立中央病院解体)



糸群b遺跡



糸群b遺跡近景 (南から)



糸群b遺跡立会調査状況 (南から)

遺跡地名表 位置図・図版14 (県文化環境部・総務部・企業局関係遺跡)



田代遺跡



田代遺跡近景 (南から)



田代遺跡立会調査状況 (北から)



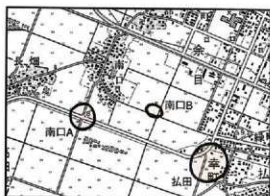
六郎屋敷遺跡



六郎屋敷遺跡近景 (南から)



六郎屋敷遺跡立会調査状況 (北から)



南口A・南口B・弘田遺跡



南口A遺跡 (東から)

遺跡地名表 位置図・図版15 (県企業局・国土交通省関係遺跡)



南口B遺跡近景（南から）



弘田遺跡近景（南から）



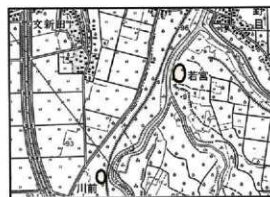
本田遺跡



本田遺跡遠景（東から）



本田遺跡出土遺物



川前・若宮遺跡



川前遺跡T1状況（北から）



若宮遺跡近景（南西から）

遺跡地名表 位置図・図版16 (国土交通省関係遺跡)



若宮遺跡 T1 トレンチ状況 (東から)



若宮遺跡出土遺物



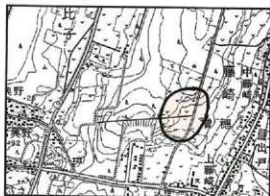
横向遺跡



横向遺跡近景 (西から)



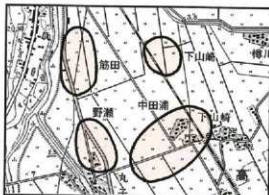
横向遺跡板碑出土状況



神矢道日遺跡



神矢道日遺跡近景 (南から)



下山崎・中田浦・筋田・野瀬遺跡

遺跡地名表 位置図・図版17 (国土交通省・日本道路公団関係遺跡)



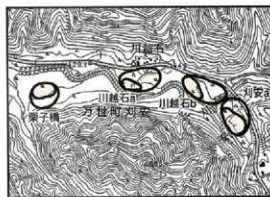
中田浦・下山崎遺跡遠景（南から）



筋田遺跡近景（東から）



野瀬遺跡近景（西から）



栗子橋・川越石a・川越石b・刈安a遺跡



栗子橋遺跡近景（西から）



栗子橋遺跡T1トレンチ状況（北から）



川越石a（東から）



川越石aT5（東から）



川越石b遺跡近景（東から）



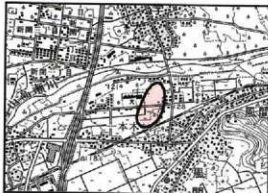
川越石b遺跡トレンチ状況（南から）



刈安a遺跡近景（西から）



刈安a遺跡T1トレンチ状況（北から）



北向遺跡



北向遺跡近景（北西から）



北向遺跡出土遺物

遺跡地名表 位置図・図版19（日本道路公園・県住宅供給公社関係遺跡）

表-3 掲載遺跡位置図(2万5千分の1)

No	遺跡名	図幅名	No	遺跡名	図幅名
1	家根合	藤島	38	館山平城跡	米沢
2	金城館跡	長井	39	山形城三の丸跡	山形北部・山形南部
3	小反	羽根沢温泉	40	糸畦b	米沢
4	熊野館跡	羽根沢温泉	41	田代	米沢
5	葎田	羽根沢温泉	42	六郎屋敷	米沢
6	小其塚館跡	米沢北部	43	南口A	余目
7	権兵衛館跡	古口	44	南口B	余目
8	郡山	谷地・橋岡	45	弘田	余目
9	泉郷後沢	橋岡	46	本田	湯野浜
10	湯尻	天童	47	川前	山形北部
11	中島館跡	天童	48	若宮	山形北部
12	岩木B	谷地	49	橋向	糠野目
13	上竹野	古口	50	神矢道B	酒田北部・十里塚
14	沼台小坂野	肘折	51	下山崎	吹浦
15	清水城跡	古口	52	中田浦	吹浦
16	上沢	肘折	53	筋田	吹浦
17	細田	延沢	54	野瀬	吹浦
18	深谷経塚	羽後観音寺	55	栗子橋	米沢東部
19	坂ノ下	余目	56	川越石a	米沢東部
20	沼袋	谷地・橋岡	57	川越石b	米沢東部
21	二階堂氏屋敷	寒河江	58	刈安a	米沢東部
22	根際的場	山形北部・宮宿	59	北向	山形北部・山寺
23	東山3	下名川	60	釜淵D	羽前金山
24	来迎寺	延沢	61	埴ノ上	長井
25	片谷地	山形南部	62	泉森窟跡	余目
26	大隅	左沢・宮宿	63	坂ノ下	余目
27	上ノ山	左沢・宮宿	64	泉森南窟跡	余目
28	荒小屋	羽前小松	65	塩野西上屋敷	米沢北部
29	第二農場	延沢	66	蔵之館跡	米沢北部
30	大在家	糠野目	67	大明神	山形北部
31	花沢b	米沢北部・米沢東部	68	荒砥城跡	荒砥
32	米沢城二の丸跡	米沢	69	台の上	上山
33	小田島城跡	橋岡	70	長者原	手ノ子
34	高瀬山	寒河江	71	東畑A	赤湯
35	箕輪	寒河江	72	達磨寺	山形北部
36	観音堂	赤湯	73	川前2	山形北部
37	高館	湯野浜・羽前加茂	74	下反田2	山形北部

2 試掘調査の概要

(1) 釜淵D遺跡 (遺跡番号994)

所在地 山形県最上郡真室川町大字釜淵字五郎前

調査員 長橋 至

調査期日 現地確認 平成13年5月9日 試掘調査 平成13年5月11日

起因事業 県営ほ場整備事業 (担い手育成型) 釜淵地区

遺跡環境 J R奥羽本線かまぶち駅南方約2 km、塩根川と春木川の合流点に近い河岸段丘に立地する。標高は118mを測る。

試掘区 事業予定地内の遺跡範囲及び一部遺跡範囲外にトレンチ16ヶ所を設定。

試掘方法 重機+人力で試掘調査を実施。

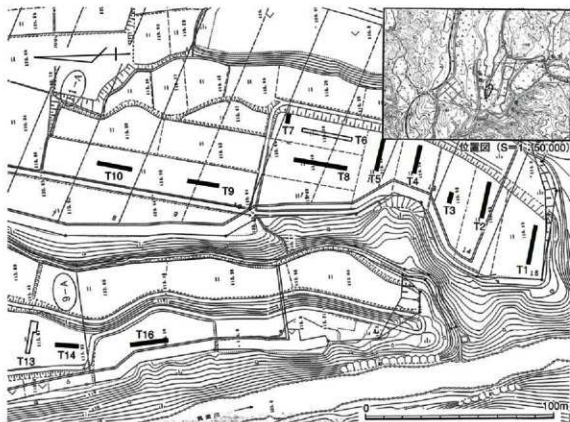
試掘面積 490㎡ (対象面積約10,000㎡)

検出遺構 登録遺跡範囲内では遺構は未検出。改田で削平されている状況を呈した。なお遺跡範囲外で遺物が表採されたため、T11～16を設定、T13で落し穴状の土坑を1基、小ピット4基を検出したが、周辺部は既削平、遺構・遺物の広がりには確認されなかった。

出土遺物 二次堆積の石器剥片

時代 縄文時代

所見 登録範囲では、改田で遺跡の遺存面はほとんど削平されている状況であった。登録抹消。



第1図 釜淵D遺跡概要図



遺跡近景 (南から)



T 8 全景 (北から)



T13土坑断面 (北から)



T13遺構完掘状況 (西から)



出土遺物

図版1 釜淵D遺跡

(2) 埴ノ上遺跡 (平成12年度登録)

所在地 山形県長井市中道字埴ノ上

調査員 佐藤庄一

調査期日 試掘調査 平成12年10月20日、平成13年4月17～18日

起因事業 県営ほ場整備事業(担い手育成型) 宮原地区

遺跡環境 長井市街地の西方1.5kmにあり、野川右岸の河岸段丘上に立地する。地目は水田・畑地等で、標高は205mを測る。

試掘区 2回の試掘調査でトレンチ17ヶ所を設定。

試掘方法 畑地に重機+人力で試掘調査を実施。

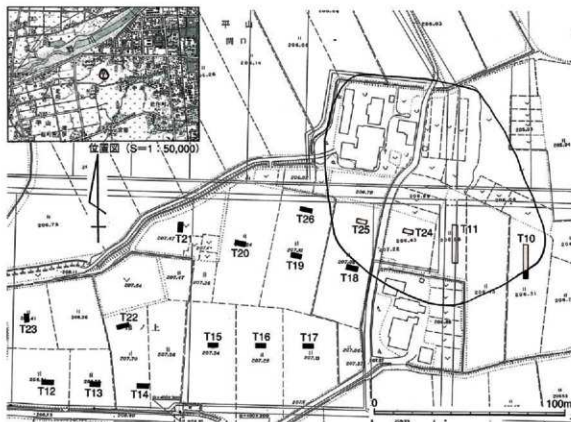
試掘面積 226m² (対象面積約30,000m²)

検出遺構 調査地の北東隅(T10・11・24・25)で、奈良・平安時代の竪穴住居状の落ち込みと柱穴、溝跡、土坑数基を検出した。調査地の中央から南西にかけて(T12～23)は地表から基盤の青灰色シルトまで深さがあり、遺構や遺物は認められない。

出土遺物 T10・11・24・25で奈良・平安時代の土師器と須恵器片が出土。特にT10・11からは遺構の覆土より土師器・須恵器片がまとまって出土している。

時代 奈良・平安時代

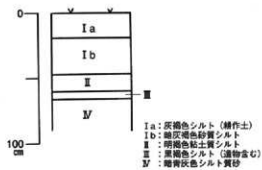
所見 2回の試掘調査によって、調査地の北東端にあたる4ヶ所のトレンチから遺構や遺物がまとまって検出された。最終的な遺跡の範囲は、約120m四方となる。



第2図 埴ノ上遺跡概要図



遺跡近景 (西から)



T25土層柱状図



T20溝跡 (南から)



T25西壁土層断面



試掘調査状況 (西から)

(3) 泉森窯跡 (平成13年度登録)

所在地 山形県酒田市大字生石字泉森

調査員 佐藤庄一 長橋 至

調査期日 現地確認 平成13年5月24日 試掘調査 平成13年5月28~31日

起因事業 広域営農団地農道整備事業 飽海中央地区

遺跡環境 滝野沢集落の東方1.5km、出羽山地の丘陵斜面に立地し、標高は79mを測る。地目は山林(杉林)となっている。農道工事開始時に地元研究者により表面踏査で遺物が発見された。連絡を受けた県教委では、直ちに現地確認のうえ、事業側と協議し、工事を一時中止し試掘調査を実施した。調査結果に基づき、別途保存協議を行った。

試掘区 窯跡の存在を予想し、遺物の散布する地点を中心に15トレンチを設定した。

試掘方法 窯跡想定地は人力で試掘調査を実施。周辺部は重機により調査を実施した。

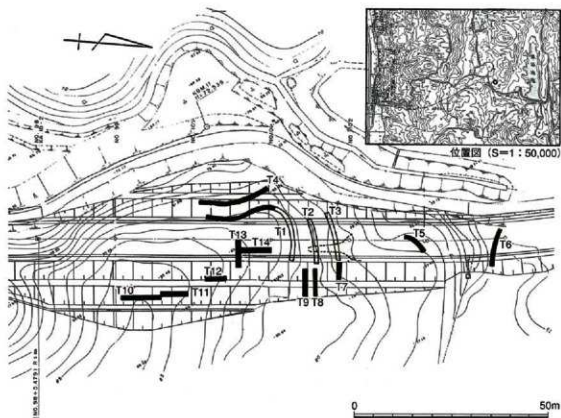
試掘面積 220㎡ (対象面積約2,000㎡)

検出遺構 T2及び3で窯跡を確認。窯壁が明瞭に検出された。

出土遺物 平瓦、須恵器

時代 平安時代

所見 窯跡本体は未掘だが、出羽国府と想定される、瓦が出土した国史跡城輪跡との関連で極めて重要な遺跡である。事業実施中のため、協議の結果、緊急発掘調査を実施することとした。



第3図 泉森窯跡概要図



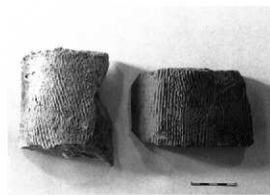
道跡近景（北から）



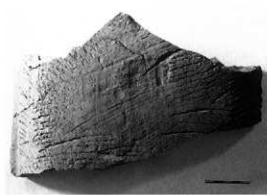
T 3 窯体検出状況（北から）



作業風景（北から）



出土遺物（1）



出土遺物（2）

図版 3 泉森窯跡

(4)坂ノ下遺跡 (平成13年度登録)

所在地 山形県酒田市生石字坂ノ下

調査員 佐藤庄一

調査期日 試掘調査 平成13年5月30～31日

起因事業 広域営農団地農道整備事業 飽海中央地区

遺跡環境 酒田市生石地区から矢流川添いに東に登り、通越地区からさらに南に2km程入った出羽丘陵上に立地する。地目は畑地・水田等で、標高は76mを測る。

試掘区 1回の試掘調査でトレンチ3ヶ所とテスト・ピット4ヶ所を設定。

試掘方法 畑地に重機+人力で試掘調査を実施。

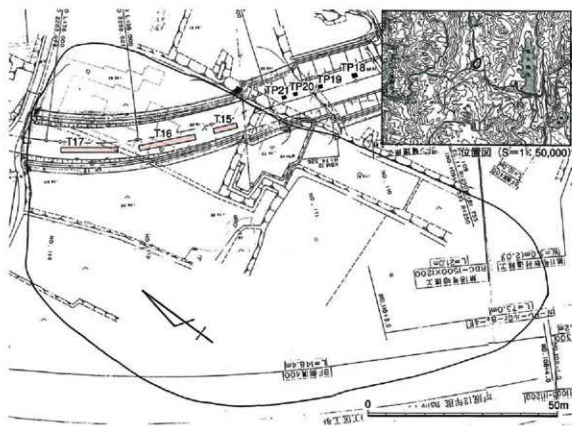
試掘面積 76㎡ (対象面積約1,200㎡)

検出遺構 T15～17のⅢ層灰褐色粘土直上で、直径25cm前後の建物柱穴が確認され、T16からは直径約1.5m以上の落ち込み遺構も検出されている。T・P18～21はⅡ層の褐色粘土質シルトがなく、地層の攪乱が著しい湿地である。

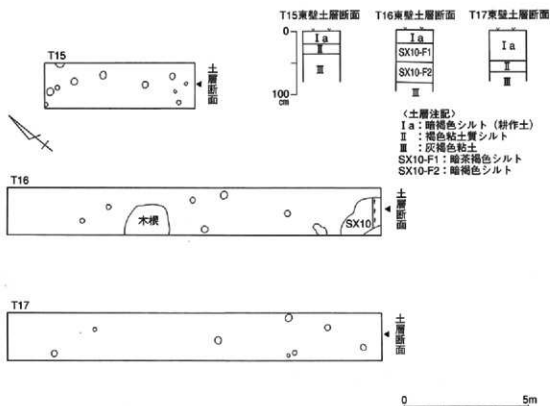
出土遺物 T15～17のⅠ・Ⅱ層から平安時代の土師器や須恵器・赤焼土器が少量出土。

時代 平安時代

所見 今回の試掘調査では、農道予定路線の中央寄りで平安時代の掘立柱建物跡を主とする集落跡が確認された。この付近の畑地には、南北120m、東西60mにわたって平安時代の須恵器や赤焼土器が散布しており、遺跡の範囲はさらに南側に広がるものと思われる。



第4図 坂ノ下遺跡概要図



第5図 板ノ下遺跡遺構配置図



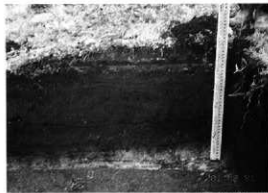
遺跡近景 (西から)



試掘調査状況 (西から)



T15柱穴掘り下げ状況



T17東壁土層断面

図版4 板ノ下遺跡

(5) 泉森南窯跡 (平成13年度登録)

所在地 山形県酒田市生石字泉森

調査員 佐藤庄一

調査期日 現地確認 平成13年11月5日 試掘調査 平成13年11月26～28日

起因事業 広域営農団地農道整備事業 飽海中央地区

遺跡環境 酒田市生石地区の南東2km、泉谷地池の西側200mの出羽丘陵上に立地する。

地目は山林・畑地で、標高は69mを測る。立木の伐採中に遺跡が発見されたものである。

試掘区 農道予定路線のうち、遺物の散布地域を中心にトレンチを11ヶ所設定。

試掘方法 畑地に重機+人力で試掘調査を実施。

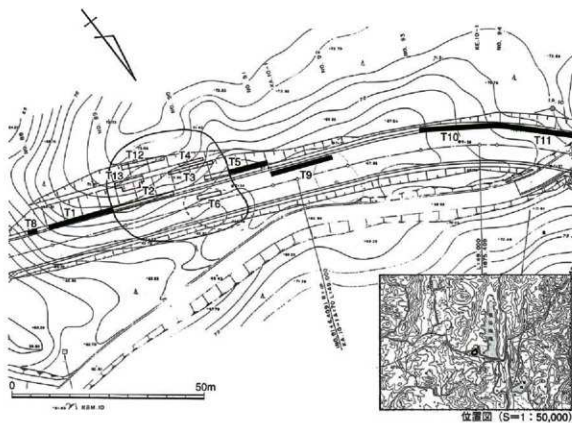
試掘面積 280㎡ (対象面積約30,000㎡)

検出遺構 T3とT4から、赤く焼けた窯跡の壁と思われるものを2ヶ所検出。その北側のT6周辺は須恵器が多量に散布しており、窯跡の灰原と推定される。また、T2・12・13にも須恵器を伴う落ち込みと土坑が検出された。

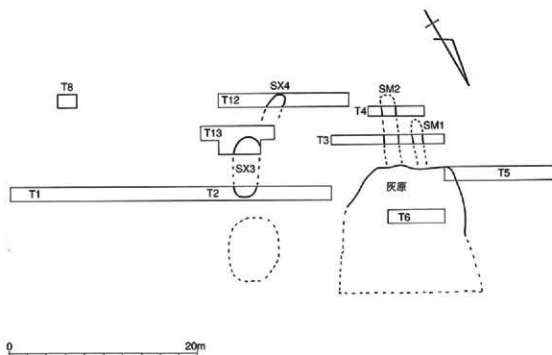
出土遺物 上記検出遺構や灰原から、平安時代初め頃の須恵器が多量に出土。

時代 平安時代

所見 今回の試掘調査では、農道予定路線の東側において平安時代の窯跡2基と灰原、土坑、須恵器等が検出された。本遺跡は平成13年5月に確認された「泉森窯跡」、「坂ノ下遺跡」に次ぐ新規発見の遺跡であり、小字名の泉森を基に「泉森南窯跡」と呼称する。



第6図 泉森南窯跡概要図



第7図 泉森南窯跡遺構配置図



T2東半近景 (東から)



T9試掘調査状況 (東から)



SM2土層断面 (北東から)



SX3土層断面 (北東から)

図版5 泉森南窯跡

（6）塩野西上屋敷遺跡（米沢市遺跡地名表Ⅰ-479）

所在地 山形県米沢市塩井町塩野字西上屋敷

調査員 佐藤庄一

調査期日 現地確認 平成13年4月27日 試掘調査 平成13年10月24～25日

起因事業 農免農道整備事業（米沢市塩井西部地区）

遺跡環境 米沢市塩井町塩野地区の西方、鬼面川右岸の沖積地に立地する。地目は水田・畑地等で、標高は246mを測る。

試掘区 東西11m×南北200mの範囲に、試掘調査のトレンチを8ヶ所設定。

試掘方法 畑地に重機＋人力で試掘調査を実施。

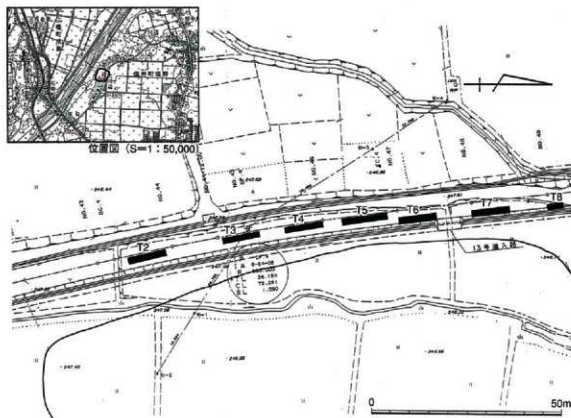
試掘面積 150m²（対象面積約2,200m²）

検出遺構 各トレンチとも地表下約45cm前後で基盤層の茶褐色砂ないし砂礫層に達する。T3とT5から人頭大の河原石が3ヶ所で検出されたが、断面等の観察では上層から沈み込んだ石と判定された。ほかに中世に遡る遺構は認められない。

出土遺物 各トレンチからは、近代の陶磁器を除き、中世に遡る遺物の出土はなかった。

時代 中世

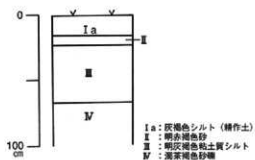
所見 今回の試掘調査では、中世以前に遡る遺構や遺物は検出されなかった。米沢市教委発行の遺跡地図では、試掘区を含む水田と畑地が遺跡になっているが、遺跡の主たる範囲は当初より東にずれるものと思われる。農免農道の用地は遺跡には含まれない。



第8図 塩野西上屋敷遺跡概要図



遺跡近景 (北西から)



T 3 土層柱状図



T 1 試掘調査状況 (南から)



T 4 土層断面 (北から)



T 5 石列検出状況 (南から)

(7) 蔵之館跡 (米沢市遺跡地名表 I-478)

所在地 山形県米沢市塩井町塩野字蔵之館

調査員 佐藤庄一

調査期日 現地確認 平成13年4月27日 試掘調査 平成13年9月4～5日

起因事業 農免農道整備事業 (米沢市塩井西部地区)

遺跡環境 米沢市塩井町塩野地区の西方、鬼面川右岸の沖積地に立地する。地目は水田・畑地等で、標高は245mを測る。

試掘区 東西11m×南北50mの範囲に、A区とB区の2ヶ所の調査区を設定。

試掘方法 畑地に重機+人力で試掘調査を実施。

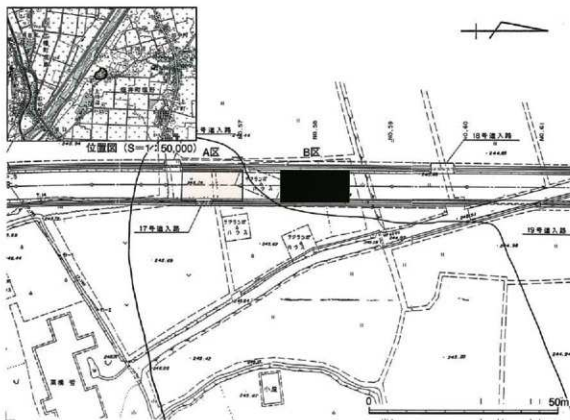
試掘面積 292m² (対象面積約550m²)

検出遺構 両調査区とも地表下約60cmでⅢ層の暗青褐色シルトに達する。A区南半から平安時代中頃の掘立柱建物跡が1棟検出された。大きさは南北5m×東西10m程と推定され、南側に幅90cmの庇を有する。B区からは中世以前に遡る遺構は認められなかった。

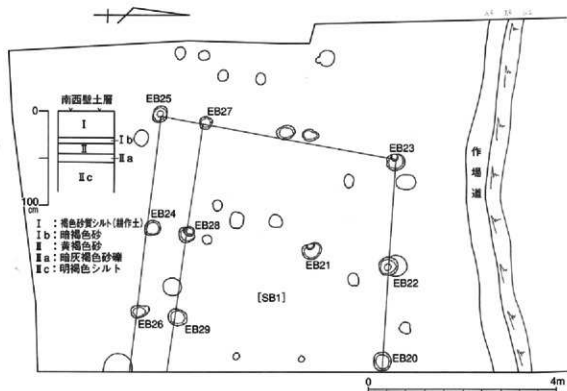
出土遺物 A区南半の掘立柱建物跡周辺から、10世紀頃の須恵器片が少量出土した。

時代 平安時代～中世

所見 今回の試掘調査では、平安時代中頃の掘立柱建物跡が1棟検出された。米沢市教委発行の遺跡地図では、調査区西側の農道から東側が遺跡になっているが、遺跡の範囲はこれよりやや西側に広がるものと思われる。



第9図 蔵之館跡概要図



第10図 蔵之館跡A区検出遺構平面図



A区西壁土層断面



蔵之館跡遠景(南西から)



調査区近景(北から)



SB1プラン検出(南から)

図版7 蔵之館跡

(8)大明神遺跡 (遺跡番号143)

所在地 山形県山形市大字青柳字大明神

調査員 名和達朗

調査期日 現地確認 平成13年11月19日 立会調査 平成13年11月21日

試掘調査 平成13年12月25～26日

起回事業 一般県道東山七浦線道路改良事業

遺跡環境 J R奥羽本線南出羽駅の東側100m、県道・市道志村東線・市道伊東原長表線の三叉路東側の宅地～畑地に位置する。北側の立谷川と南側の高瀬川間に広がる扇状地に立地する。標高は、107mを測る。

試掘区 道路計画用地内に重機でトレンチ6ヶ所(立会調査T1・2を含む)を設定。

試掘方法 重機+人力で試掘調査を実施。

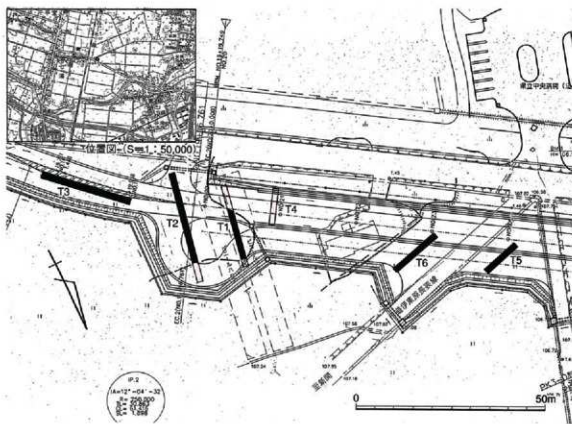
試掘面積 164.37㎡(立会調査面積76.02㎡を含む)(対象面積3,000㎡)

検出遺構 T1・2・4から柱穴、土壌、溝跡を検出。確認面は、地表下24cm、35cm。T1～3は、砂利層の広がりがみとめられた。

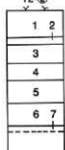
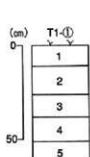
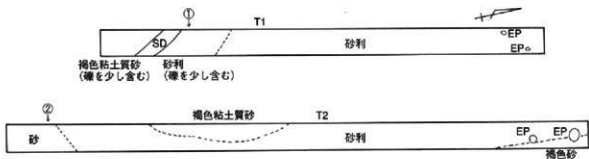
出土遺物 T4から土師器一括土器、T3・6から土師器小片、T5から加工痕木片出土。

時代 平安時代

所見 T1・2の北側からT4を含む南北に広がる遺跡範囲が考えられる。事業に係る範囲については、記録保存が必要と判断される。

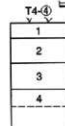
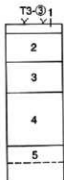
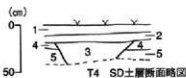
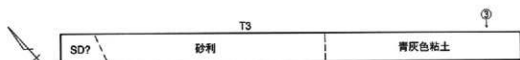


第11図 大明神遺跡概要図



- T1-①
- 1 灰褐色シルト (耕作土)
 - 2 灰褐色粘土質シルト
 - 3 灰色粘土質シルト
 - 4 暗灰色粘土質シルト (礫を含む)
 - 5 砂利 (確認面・地山)

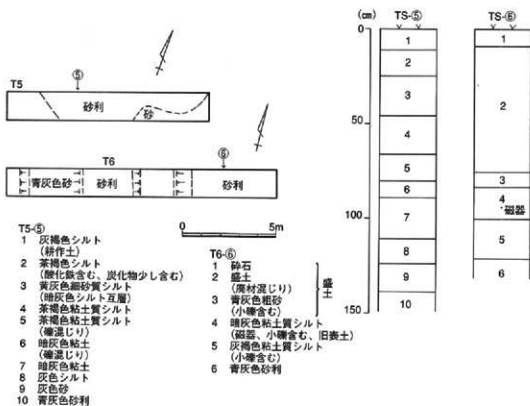
- T2-②
- 1 耕作土
 - 2 灰褐色粘土質シルト (酸化鉄を下部に堆積)
 - 3 灰色粘土質シルト (砂混じり)
 - 4 灰色砂質シルト
 - 5 灰色粘土質シルト (礫混じり)
 - 6 青灰褐色砂 (地山)



- T3-③
- 1 灰褐色砂質シルト (耕作土)
 - 2 褐色砂
 - 3 暗灰褐色粘土質シルト (礫混じり)
 - 4 暗青灰色粘土
 - 5 青灰色粘土 (上面砂堆積)

- T4-④
- 1 耕作土
 - 2 灰褐色砂質シルト
 - 3 暗灰色砂質シルト (土器含む、上部礫混じり)
 - 4 暗灰褐色砂質シルト (確認面・地山)

- T4北側SD
- 1 耕作土
 - 2 灰褐色砂質シルト
 - 3 黒褐色粘土質シルト (SD層土)
 - 4 暗灰色粘土質シルト (砂混じり)
 - 5 暗灰褐色砂質シルト (確認面・地山)



第13図 大明神遺跡調査平面・断面略図(2)



遺跡近景(東から)

図版8 大明神遺跡(1)



T 1 調査状況 (南から)



T 2 遺構検出状況 (南西から)



T 4 土層断面 (東から)



T 4 遺構・遺物検出状況 (北から)

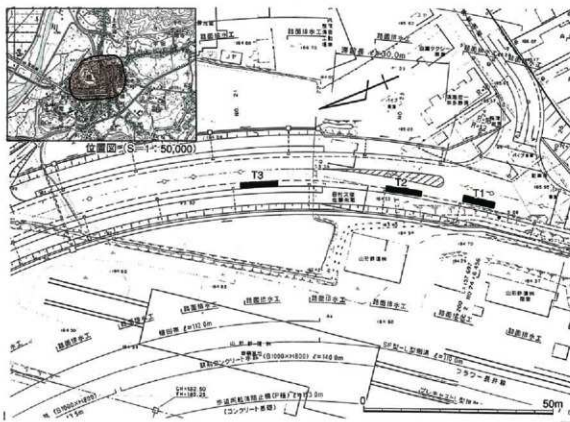


出土遺物

図版 9 大明神遺跡 (2)

(9) 荒砥城跡 (山形県中世城館遺跡調査報告書402-024)

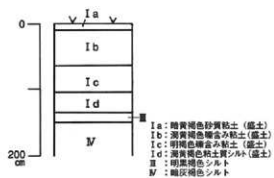
- 所在地 山形県東西置賜郡白鷹町大字荒砥甲八幡ほか
- 調査員 佐藤庄一
- 調査期日 現地確認 平成13年9月17日 試掘調査 平成14年1月17~18日
- 起回事業 道路改築整備事業一般国道287号 荒砥停車場線
- 遺跡環境 フラワー長井線荒砥駅の南東前にあり、最上川右岸の独立丘陵上に立地する。地目は畑地・水田・宅地等で、標高は185mを測る。
- 試掘区 1回の試掘調査で、トレンチを5ヶ所を設定。
- 試掘方法 畑地に重機+人力で試掘調査を実施。
- 試掘面積 46㎡ (対象面積約4,400㎡)
- 検出遺構 T1・2は調査地区の南端に設定したトレンチで、厚く盛り土がなされ、地表下約150cmで基盤層の暗灰褐色シルトに達する。T3~5は中央から北側に設定したもので、地表下約60cmで基盤層の濁黄褐色粘土に達する。ともに遺構は認められない。
- 出土遺物 各トレンチからの遺物は、近年の陶磁器が数点出土したのみである。
- 時代 鎌倉~戦国時代
- 所見 今回の試掘調査は、荒砥城跡三の丸の近隣部について5ヶ所のトレンチを設定し、遺跡の確認を図ったものであるが、近世以前に遡る遺構・遺物は認められなかった。調査結果から、遺跡は道路予定地区の南東側、県道の南側の台地に分布するものと推定される。



第14図 荒砥城跡概要図



道路導入部と荒砥城跡近景（北から）



T1 土層柱状図



試掘調査状況（北から）



T1 北壁土層断面



T1 全景（南から）

(10)台の上遺跡 (遺跡番号215)

所在地 山形県上市市大字樋下字平林

調査員 長橋 至

調査期日 現地確認 平成13年10月 試掘調査 平成13年11月6～8日

起因事業 主要地方道上山七ヶ宿線道路改良事業

遺跡環境 樋下集落東側、金山川右岸の台地に立地する。範囲は約150m四方、標高は282mを測る。地目は水田・畑地・果樹地となっている。中世の樋下城跡と一部重複する。

試掘区 トレンチ18ヶ所を設定 (東端部は図示範囲外)

試掘方法 事業予定地に重機+人力で試掘調査を実施。

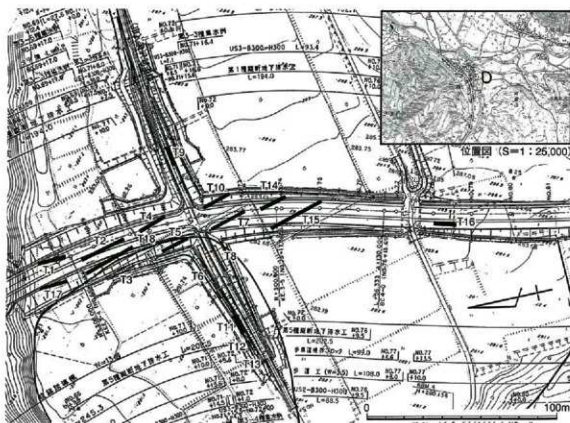
試掘面積 480m² (対象面積約9,000m²、樋下城跡推定地含む)

検出遺構 T3・6・8・11～13で遺構が検出された。特に、T6では径1～2mの大型の土坑が5基検出された。上記トレンチ以外の部分は改田で削平された状況を示している。

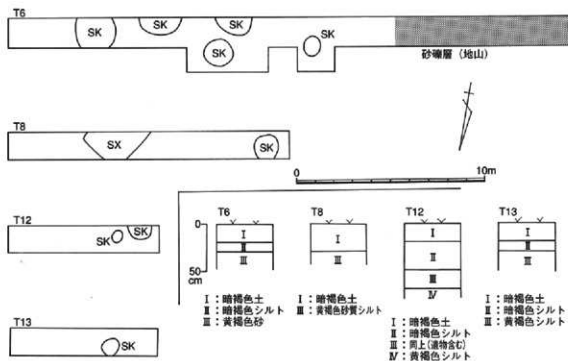
出土遺物 遺物包含層は認められない。トレンチからの遺物の出土はない。トレンチ設定地区北西の水田法面から縄文時代中期の土器が比較的多量に採取された。

時代 縄文時代中期。

所見 事業予定地内では、約1,500m²の範囲で遺構が分布することが確認された。遺物包含層は改田等で削平されたものと考えられる。全体には希薄な分布状況を示すが、一部、良好な遺構が遺存するため、その部分についての記録保存が必要と判断される。



第15図 台の上遺跡概要図



第16図 台の上遺跡検出遺構平面図・断面図



遺跡近景 (南から)



T 6 遺構検出状況 (西から)



T 8 遺構検出状況 (西から)



出土遺物

図版11 台の上遺跡

(11)長者原遺跡 (平成6年度登録)

所在地 山形県西置賜郡飯豊町大字小白川字長者原

調査員 佐藤庄一

調査期日 現地確認 平成13年9月17日 試掘調査 平成13年11月8～9日

起因事業 地方特定道路整備事業 主要地方道長井飯豊線

遺跡環境 J R米坂線ノ子駅の北東1.7kmに位置し、白川左岸の段丘上に立地する。地目は畑地・荒地等で、標高は250～260mを測る。

試掘区 東西100m×南北40mの範囲に、試掘調査のトレンチを10ヶ所設定。

試掘方法 畑地・荒地に重機+人力で試掘調査を実施。

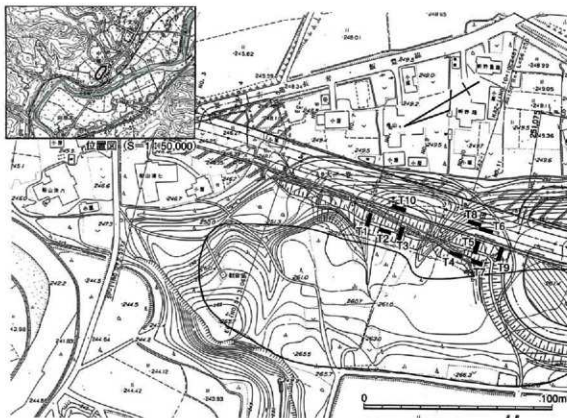
試掘面積 200㎡ (対象面積約4,000㎡)

検出遺構 T1～3・10は調査地区の南東部に設定した4本のトレンチ、T4～9は北西部に設定した6本のトレンチである。各トレンチとも地表下10cmでⅡ層明褐色シルト、30～40cmでⅣ層濁黄褐色粘土質シルトに達する。T1とT2には円礫の分布がみられる。近年の溝跡や落ち込みはみられるが、中世以前に遡る遺構はなかった。

出土遺物 各トレンチとも、遺物は出土しなかった。

時代 縄文時代

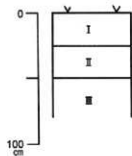
所見 今回の調査では中世以前に遡る遺構や縄文時代の土器・石器等の遺物は認められなかった。調査結果から、遺跡は道路予定地の北側の畑地に分布するものと推定される。



第17図 長者原遺跡概要図



遺跡近景（西から）



I：褐色シルト（灰土）
 II：明褐色シルト
 III：黄褐色粘土質シルト

T1土層柱状図



遺跡近景（東から）



T1土層断面（南から）



T3全景（南東から）

(12)東畑A遺跡 (昭和61年度南陽市教育委員会登録)

所在地 山形県南陽市大字組柳字東畑1740-1ほか

調査員 佐藤庄一

調査期日 現地確認 平成13年8月24日 試掘調査 同年8月30日、9月21日

起因事業 国道113号赤湯バイパス建設工事

遺跡環境 南陽市組柳地区の南側、吉野川右岸の自然堤防上に立地する。地目は水田・畑地・宅地等で、標高は212mを測る。

試掘区 2回の試掘調査で、トレンチ8ヶ所を設定。

試掘方法 水田に重機+人力で試掘調査を実施。

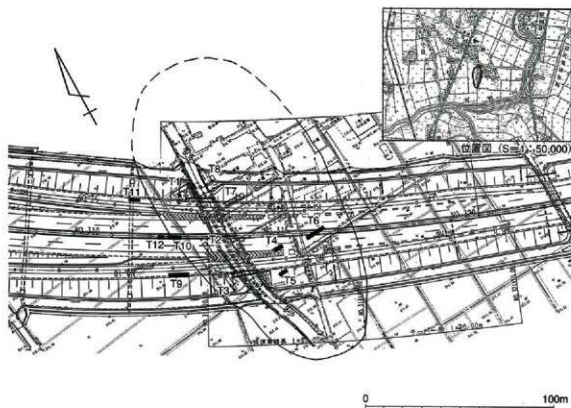
試掘面積 178㎡ (対象面積約7,000㎡)

検出遺構 市道組柳西線の西側(T1~3)から、奈良・平安時代の落ち込み遺構や土坑が検出された。T3では、地表下58cmで土器を含む黒褐色粘土質シルトに達する。市道組柳西線東側のうち、北半部(T7・8)は溝跡や土坑等の遺構が残っているが、南半部(T4~6)は畑地造成の際に基盤層まで削平されている。

出土遺物 T1~3から、奈良・平安時代の土師器と須恵器がややまとまって出土した。

時代 奈良・平安時代

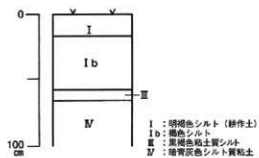
所見 試掘調査では、8ヶ所のトレンチのうち北西側中央寄りの5ヶ所から奈良・平安時代の遺構や遺物が検出された。遺跡範囲は、西側の水田(T12~6)までは広がらない。



第18図 東畑A遺跡概要図



遺跡近景 (南から)



T3土層柱状図



T8溝跡検出状況



T3北壁土層断面



T1・SK1半載状況

(13) 達磨寺遺跡 (遺跡番号399・400)

所在地 山形県東村山郡中山町大字達磨寺

調査員 長橋 至

調査期日 現地確認 平成13年5月9日 試掘調査 平成13年5月11日

起因事業 須川河川改修事業 (下流部)

遺跡環境 達磨寺集落の東方1.3km、須川左岸の自然堤防上に立地する。範囲は南北300m×東西150m、標高は95mを測る。地目は畑地・果樹地となっている。東北横断自動車道酒田線建設に際し、道路部分の発掘調査が昭和58・59年度に実施されている。

試掘区 堤防幅幅部に30～40m間隔でトレンチ7ヶ所を設定。

試掘方法 重機+人力で試掘調査を実施。対象地区の幅が狭いため長さ10m未満とした。

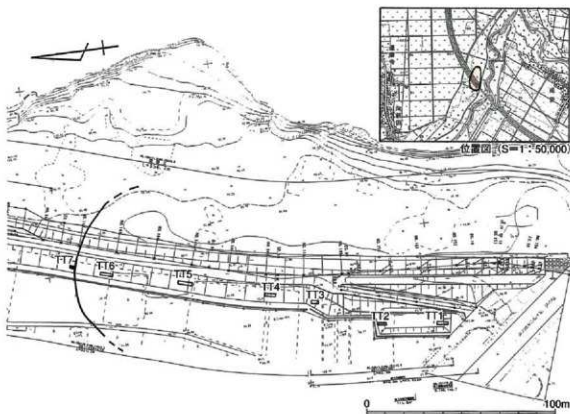
試掘面積 70m² (対象面積約2,300m²)

検出遺構 T1～柱穴、土坑敷基T2～遺構覆土検出T3～土坑敷基、溝跡T4～6では土坑、柱穴、溝状遺構がやや希薄ではあるが検出された。

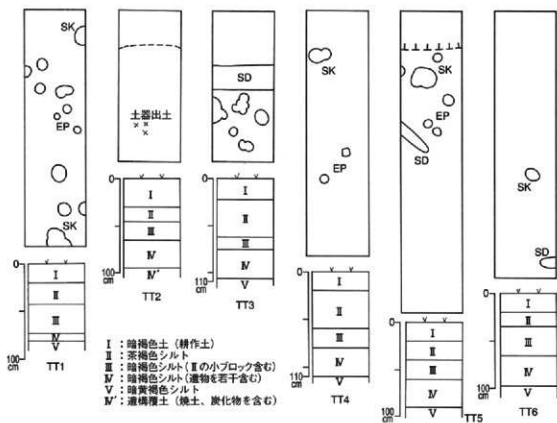
出土遺物 IV層及び遺構覆土から平安時代の須恵器が出土。III層でも少量の遺物が出土。

時代 平安時代

所見 昭和58・59年度の高速度道路建設時の発掘調査では、良好な平安時代の集落跡の遺存が確認されている。今回の試掘対象地区でも同様に多数の遺構が良好な状態で遺存していることが確認された。事業の実施にあたっては保存協議が必要と判断される。



第19図 達磨寺遺跡概要図



第20図 達磨寺遺跡検出遺構平面図・断面図



遺跡近景 (北から)



T1 遺構検出状況 (北から)



T4 遺構検出状況 (南東から)



出土遺物

(14)川前2遺跡 (平成13年度登録)

所在地 山形県山形市大字中野目字赤坂、東村山郡中山町長崎字川前

調査員 長橋 至

調査期日 現地確認 平成13年5月9日

試掘調査 平成13年6月13～14日 7月19日 9月4～7日

起回事業 須川河川改修事業 (下流部)

遺跡環境 中野目赤坂地区南方の800m、須川左岸の自然堤防上に立地する。範囲は南北400m×東西150m、標高は93mを測る。地目は畑地・果樹地・荒地となっている。

試掘区 事業予定地にトレンチ32ヶ所を設定。段丘の張り出し部が河川改修予定地となるため、北側から川前2遺跡部分、A地区、B地区とし、大きく3地点を対象とした。

試掘方法 重機+人力で試掘調査を実施。試掘面積 850㎡ (対象面積約9,000㎡)

検出遺構 川前2遺跡とした範囲では良好かつ濃密に遺構の分布が確認された。新規発見の大集落と予想される。竪穴住居跡、土坑等が大量に検出された。

出土遺物 奈良～平安時代の須恵器・土師器が遺構覆土上面から多量に出土。小片だが古墳時代の土師器も出土している。

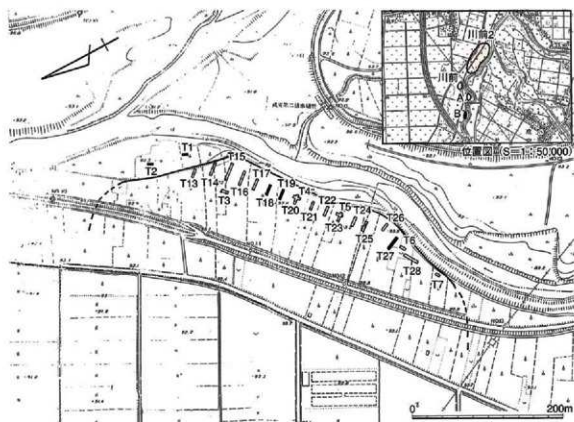
時代 古墳時代 奈良～平安時代

所見 多数の遺構が良好な状態で遺存していることが確認された。事業の実施にあたっては保存協議が必要と判断される。なお、A地区は遺跡名の検討を要する。



遺跡近景 (北から)

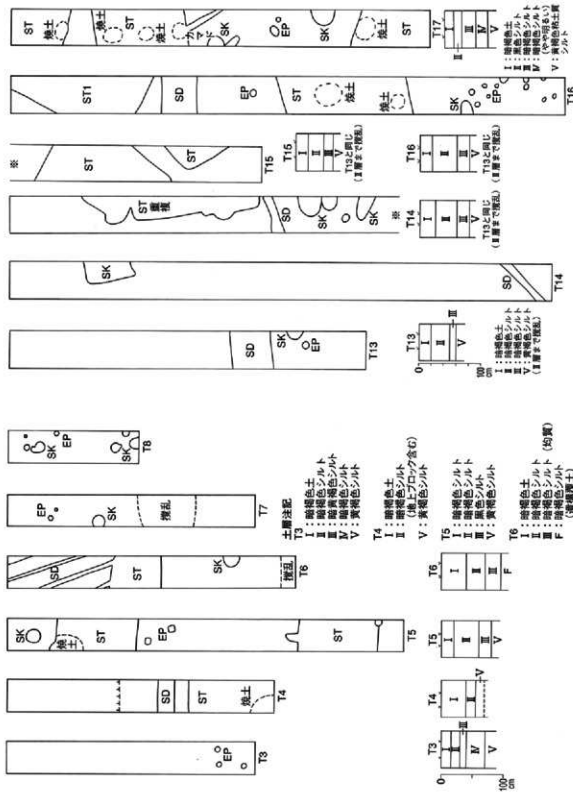
図版15 川前2遺跡 (1)



第21図 川前2 遺跡概要図(1)



第22図 川前2 遺跡概要図(2) A・B地区

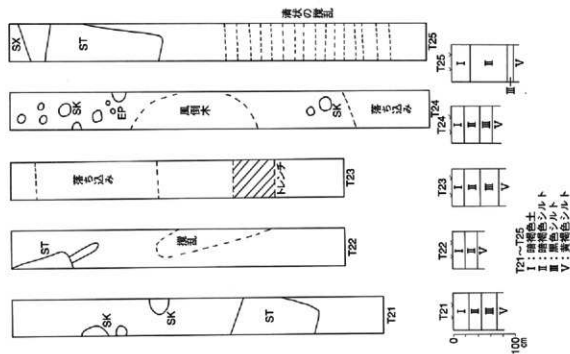


第24図 川前2道跡採出遺構平面図・断面図 (2) T13~T17

第23図 川前2道跡採出遺構平面図・断面図 (1) T3~T8

表-4 川前2遺跡トレンチ一覧

No	検出遺構	出土遺物(ポリ袋換算)	遺構検出前までの深さ(cm)	備考
1	未検出	なし	(100)	段丘下段 遺跡外
2	未検出	なし	(100)	段丘下段 遺跡外
3	柱穴3	土師器片(1袋)	70	
4	溝跡1、土色変化(竪穴住居か)1、土境1	土師器・須恵器片(1袋)	55	西側一部深堀
5	竪穴住居2、土坑1、柱穴3	ST1(2袋)ST2(1袋)土坑(1袋)	80	
6	溝跡4、土色変化(竪穴住居か)1、土境1	須恵器坏完形1 壺半完形1他2袋	95	
7	土坑1、柱穴2	須恵器、土師器片(1袋)	80	中央部に一部攪乱
8	土坑3、柱穴3	須恵器、土師器片(3袋)	55	土坑より一括遺物出土
9	未検出	須恵器、土師器片(0.5袋)	80	大半攪乱
10	未検出	なし	200	砂の堆積層 遺跡外
11	未検出	なし	150	砂の堆積層 遺跡外
12	未検出	なし	200	砂の堆積層 遺跡外
13	溝跡1、土坑1、柱穴1	赤焼き土器片若干	60	
14	土坑1、溝跡1	須恵器、土師器片(2袋)	80	
15	竪穴住居2、土坑4、他	ST1(1袋)ST2(2袋、須恵器壶完形1)他	60	
16	竪穴住居2、溝跡1、柱穴13	ST2(土師器壺1)、須恵器、土師器片(2袋)	80	
17	竪穴住居3、土坑2、他	各住居跡から須恵器、土師器(計5袋)ST2(須恵器坏完形1)	70	
18	未検出	なし		土層断面図略
19	未検出	なし	80	土層断面図略
20	柱穴1	なし	80	土層断面図略
21	竪穴住居1、土坑2、柱穴1	赤焼き土器等(2袋)	70	
22	土色変化(竪穴住居か)1	土色変化部より須恵器壺完形1、須恵器、土師器片(1袋)	40	東半部溝状の攪乱
23	土色変化1	堀山より須恵器壺半完形品1、須恵器、土師器片(2袋)	75	T21と交差
24	土坑・柱穴等11 東側土色変化1	須恵器、土師器片3袋	65	中央部に風倒木痕1
25	竪穴住居跡1、柱穴1、西端部土色変化1	ST(赤焼き土器坏半完形1)	100	中央・東側に新しい明溝の溝状遺構
26	未検出	須恵器、赤焼き土器片(0.5袋)	80	
27~32	未検出	なし	50~100	遺跡外



第25図 川前2遺跡検出遺構平面図・断面図(3) T21~T25



遺跡近景（南から）



T 4 遺構検出状況（西から）



T 5 遺構検出状況（東から）



T 5 土層断面（東から）



T 6 遺構検出状況（東から）



T 8 遺構検出状況（南から）



T 21 遺構検出状況（西から）



T 24 遺構検出状況（東から）



出土遺物

図版17 川前2遺跡(3)

(15) 下反田^{しもきたが}2遺跡 (平成13年度登録)

所在地 山形県山形市大字下反田

調査員 名和達朗

調査期日 試掘調査 平成13年8月27から29日

起因事業 須川下流部河川改修事業

遺跡環境 下反田地区東側、反田橋上流側の須川左岸段丘上に立地する。現況は、堤防東側の河川敷である。標高は、102mを測る。

試掘区 事業計画用地内に重機でトレンチ5ヶ所を設定。

試掘方法 重機+人力で試掘調査を実施。

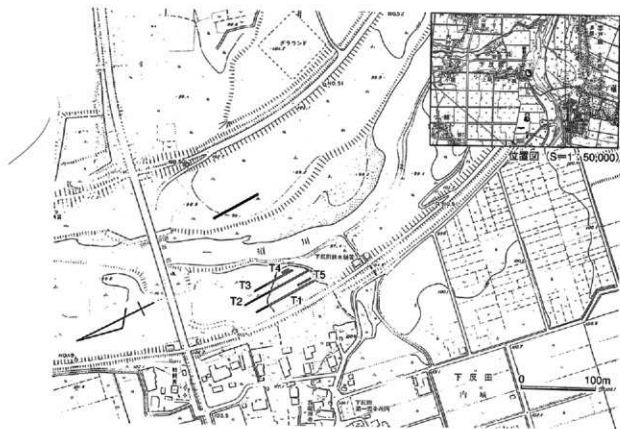
試掘面積 415.84㎡ (対象面積5,600㎡)

検出遺構 T1～5から住居跡、柱穴、土壌、溝跡、性格不明落ち込みを検出。確認面は、地表下38～92cm。

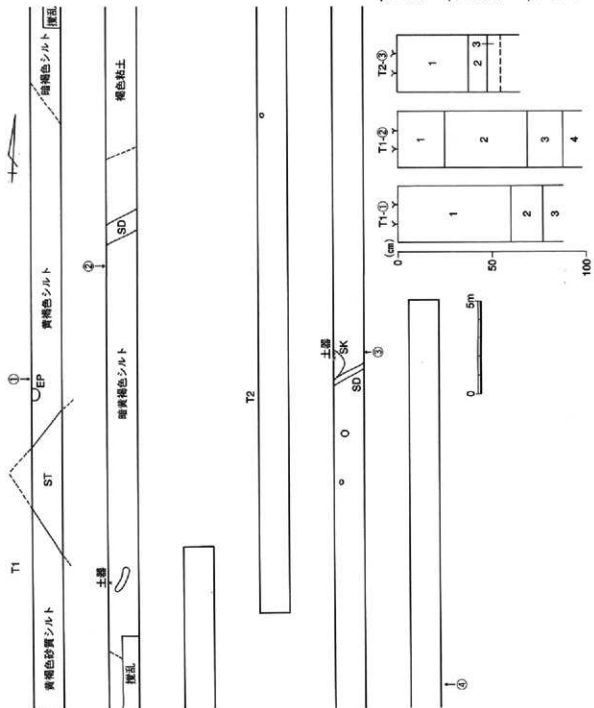
出土遺物 T1～5から土師器出土、T4住居跡から土師器壺(ほぼ1個体?)出土。T3SXから骨片出土。

時代 古墳時代

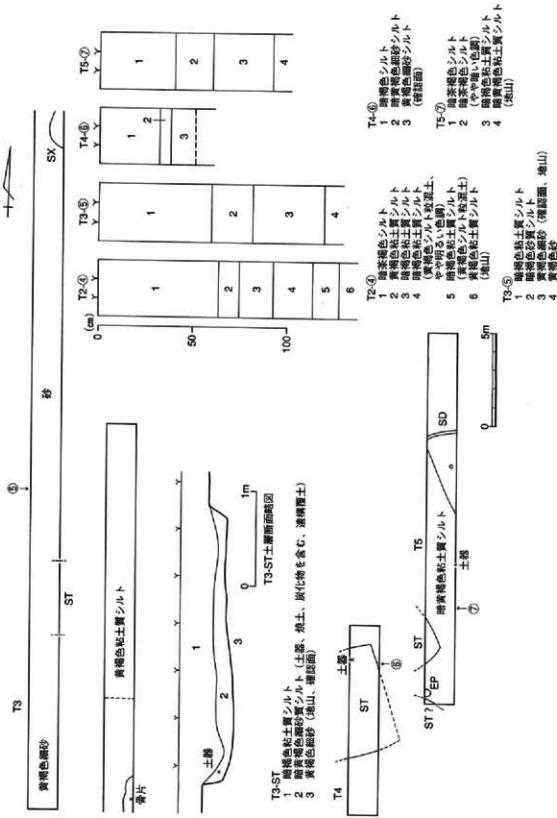
所見 遺跡範囲は、段丘縁部から堤防まで、東西約50m、南北約75mの広がりが確認された。また、T1の確認状況から、さらに堤防西側への広がりも考えられる。事業を実施する場合は、保存協議が必要と判断される。



第26図 下反田2遺跡概要図



第27図 下反田2選跡調査平面・断面略図(1)



第28図 下反田2邊跡調査平面・断面略図(2)



遺跡近景（南から）



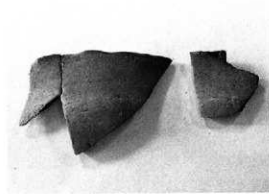
T 1 遺構検出状況（南から）



T 1-①土層断面（東から）



T 4 遺物出土状況（東から）



出土遺物

Ⅲ まとめ

平成13年度の遺跡詳細分布調査は、平成13年度以降に予定されている開発事業に先行して、遺跡の所在・範囲等を明らかにし、開発との調整を図ることを目的として実施した。また、記録保存のための小規模な発掘調査と立会い調査も行った。

1 調査遺跡数

調査遺跡数～75遺跡（表面踏査・試掘調査・発掘調査・立会い調査 新規発見遺跡含む）
その他に調査遺跡数には含まないが、登録遺跡外で遺跡の有無を確認するために試掘調査を実施したもの（調査の結果、遺跡とならないもの）や、表面踏査により各種開発事業予定地で抽出した遺跡可能性地（今後の試掘調査等で遺跡となるかを判断するもの）などについても調査を実施した。

2 新規発見遺跡、範囲の訂正、遺跡登録抹消

今年度の新規発見遺跡数 10遺跡

範囲の訂正、名称の変更等の措置が講ぜられた遺跡数 11遺跡

遺跡登録の抹消の措置をする遺跡数 2遺跡

以下にその一覧を掲げて調査のまとめとする。

(1) 新規発見遺跡（平成13年度登録遺跡）

(遺跡名)	(所在地)	(種別)	(時期)
1 若宮遺跡	山形市灰塚字若宮	集落跡	平安時代
2 北向遺跡	山形市大字風間字北向	散布地	平安時代
3 川前2遺跡	山形市大字中野目字赤坂 東村山郡中山町長崎字川前	集落跡	古墳、奈良～平安時代
4 下反田2遺跡	山形市大字下反田	集落跡	古墳時代
5 沼袋遺跡	東根市大字長瀬字沼袋	集落跡	平安時代
6 坂ノ下遺跡	酒田市大字生石字坂ノ下他	集落跡	平安時代
7 橋向遺跡	高島町雄野目字橋向	祭祀遺跡	室町時代
8 本田遺跡	鶴岡市大字本田	散布地	平安時代
9 泉森遺跡	酒田市大字生石字泉森	生産跡	平安時代
10 泉森南遺跡	酒田市大字生石字泉森	生産跡	平安時代

(2) 範囲・名称を変更する遺跡

(遺跡名)	(変更内容)	(変更を必要とする文献名)
1 大隅遺跡	範囲の訂正	平成5年3月「分布調査報告書20」
2 東山3遺跡	範囲の訂正	平成9年3月「分布調査報告書24」
3 湯尻遺跡	範囲の訂正	平成12年3月「分布調査報告書26」
4 栗子橋遺跡	範囲の訂正	平成12年3月「分布調査報告書26」
5 川越石 a 遺跡	範囲の訂正	平成12年3月「分布調査報告書26」
6 川越石 b 遺跡	範囲の訂正	平成12年3月「分布調査報告書26」
7 刈安 a 遺跡	範囲の訂正	平成12年3月「分布調査報告書26」
8 新田古墳	名称の訂正	平成13年3月「分布調査報告書27」
鷺畑山古墳 1号	(訂正後)	
9 西山古墳	名称の訂正	平成13年3月「分布調査報告書27」
鷺畑山古墳 2号	(訂正後)	
10 上ノ山遺跡	範囲の訂正	平成14年3月「分布調査報告書28」
11 高瀬山遺跡	範囲の訂正	平成14年3月「分布調査報告書28」

(3) 登録を抹消する遺跡

(遺跡名)	(変更内容)	(変更を必要とする文献名)
1 釜淵D遺跡	登録の抹消	平成14年3月「分布調査報告書28」
2 袖原3遺跡	登録の抹消	平成14年3月「袖原3遺跡発掘調査報告書」 (尾花沢市教育委員会)

山形県埋蔵文化財調査報告書第203集

分布調査報告書(29)

平成13年度以降農林土木事業他関係遺跡
国土交通省事業関係遺跡
日本海沿岸東北自動車道関係遺跡

平成15年3月26日印刷

平成15年3月28日発行

発行 山形県教育委員会

印刷 山形印刷株式会社
